SONY®

3-238-339-**03**(1)

ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ICD-MS500

⚠警告　安全のために

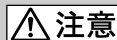
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

接触禁止

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ICレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

付属のソフトウェアについて

□ 権利者の許諾を得ることなく、このソフトウェアを賃貸に使用することは、著作権法上禁止されております。

□ このソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

□ 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

□ このソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。

□ このソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

Memory Stick Voice Editorは以下のソフトウェアモジュールを使用しています。

Microsoft® DirectX®

- “Memory Stick”（“メモリースティック”）および は、ソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）および は、ソニー株式会社の商標です。
- “LPEC”は、ソニー株式会社の商標です。
- IBMおよびPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
  Copyright ©1995 Microsoft Corporation. All Rights Reserved.
  Portion Copyright ©1995 Microsoft Corporation
- Pentiumは、Intel Corporationの登録商標です。
- Macintoshは、米国およびその他の国における米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- Dragon Systems、Dragon Speechは米国L&Hの登録商標あるいは商標です。
- Eudora、Eudora ProはQUALCOMM Incorporatedの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次

用件の編集

その他の機能

(次ページへ続く)

目次（つづき）

パソコンと使う

その他

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

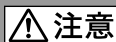
運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。
とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

⚠注意　**下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。**

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。

電池についての安全上の ご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。
- 液漏れした電池は使わない。

充電式電池、乾電池が液漏れしたときは

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が出てくることもあります。

⚠注意

- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

ICレコーダーでの録音について

ICレコーダーでは、簡単な操作で、声のメモや会議の内容などの録音や再生が手軽にできます。

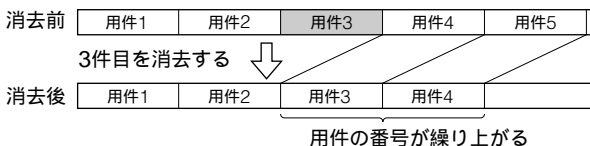
●録音

ICレコーダーでは、新しく用件を録音すると、自動的にメモリーの最後尾に記録されます。このため、テープレコーダーのように、他の用件の上から録音してしまう失敗がありません。
さらに、テープレコーダーと異なり、録音を始めるところまで早送りや巻き戻しをする必要がないので、必要なときにすぐ録音を始められ、大変便利です。

●再生

テープレコーダーのように巻き戻しをする必要がないので、今録音したばかりの用件をすぐに聞くことができます。また、聞きたい用件を簡単に探して聞くことができます。

●消去

不要な用件は、簡単に消すことができます。途中の用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、テープのようにブランクができません。

メモリースティックについて

●" メモリースティック "とは？

" メモリースティック "は、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。" メモリースティック "対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアのひとつとしてデータの保存にもお使いいただけます。1枚の" メモリースティック "に、本機で録音した音声データを記録するだけでなく、他の機器で画像データなどを記録してお使い頂くことも可能です。

●本機で使える" メモリースティック "の種類

付属の16MBの" メモリースティック "では容量が足りないときは、市販の" メモリースティック "を本機に差し込んで同じようにお使いになれます。なお、" メモリースティック "の種類により、最大録音可能時間が異なります（次ページ表参照）。

本機では、" マジックゲート メモリースティック "と一般の" メモリースティック "のどちらもご使用いただけます。

ご注意

マジックゲートは、暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

(次ページへ続く)

●1枚の“メモリースティック”に録音できる時間の目安*

録音可能時間は、使用条件により異なります。
詳しくは94ページ「システム上の制約」をご覧ください。

録音モード/容量	4MB	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB
SP（標準）モード	約30分	約64分	約130分	約264分	約532分	約1067分
LP（長時間）モード	約82分	約171分	約347分	約705分	約1418分	約2846分

* 各“メモリースティック”をICD-MS500用としてのみ使用、初期状態（3フォルダ）で連続録音した場合

●本機での音声の記録方式

本機は、録音した音声データを「メモリースティックVOICEフォーマット（msv）」（LPEC形式）で圧縮／記録しています。ファイル拡張子は「.msv」です。また、音声ファイルは、用件の順番などの情報を管理する専用の「メッセージリストファイル（msfファイル）」とともに、「VOICEフォルダ」として、“メモリースティック”に保存されます。
付属のアプリケーションソフトウェア「Memory Stick Voice Editor 2.0」を使えば、“メモリースティック”に記録した用件をパソコン上で再生・編集することもできます。

ご注意

“メモリースティック”をパソコンに差し込むと、“メモリースティック”のドライブの中身をWindowsのエクスプローラなどで表示することができますが、用件をパソコン上で再生・編集するときは、必ず付属のアプリケーションソフトウェア「Memory Stick Voice Editor 2.0」をお使いください。

●" メモリースティック "ご使用にあたって

使用上のご注意

以下の場合、データが破壊されることがあります。
- 読み込み中や書き込み中に" メモリースティック "を抜いたり、乾電池を抜いた場合。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合。

大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

" メモリースティック "のフォーマット(初期化)について

" メモリースティック "は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。フォーマット(初期化)が必要な場合は必ず" メモリースティック "専用機器で行ってください。本機では65ページ「" メモリースティック "を初期化する」の方法でフォーマットしてください。

ご注意

パソコンでフォーマット(初期化)をした" メモリースティック "は、本機での動作を保証しません。

●バックアップのおすすめ

万一の誤消去や" メモリースティック "の破損、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は必ずパソコンなどにバックアップコピーを保存してください。

本機の主な特長

本機はIC記録メディア"メモリースティック"に声のメモや会議などを録音できるICレコーダーです。

- **付属の" メモリースティック "**(16MB)**で連続録音最大約**347**分**(LP**モード**)/**約**130**分**(SP**モード**)**、最大**964**件の用件の録音が可能***[1)]
- **用件を分類して保管するフォルダを最大**340**個***[2)]**作成可能**
- **フォルダ名称、用件名称を入力可能**(49**ページ**)
  ICレコーダー本体で文字を入力し、フォルダタイトル・用件タイトルを付けることができます。フォルダタイトルは、あらかじめ用意された「会議」などのテンプレートからの選択も可能です。さらに、付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使用してパソコンでタイトルを入力することもできます。
- **多彩な録音・再生・編集機能**

  一語戻し・送りもできるキュー・レビュー機能(29ページ)

  用件を再生しながら早送り・早戻し(キュー・レビュー)をして、聞きたいところを素早く探せます。初めは少し送り／戻し、さらに押し続けて高速の早送り／戻しもできます。

  イージーサーチ機能(30ページ)

  用件を再生中、10秒先に早送りしたり、3秒間早戻しして聞いたりすることができます。

  上書き録音・追加録音機能(37ページ)

  録音し終わった用件に対して、用件の途中から続けて上書き録音したり、用件の後ろに続けて新たに追加して録音することができます。

  1件リピート・A-Bリピート機能(30、36ページ)

  １つの用件、または、用件の指定した区間を繰り返し再生することができます。

DPC（デジタル・ピッチ・コントロール）機能（34ページ）

再生スピードを変化させても、音程をデジタル処理し、自然に近いレベルで、速聞きまたは遅聞きできます。会議録音などの再生に便利です。

***アラーム再生機能**（56ページ）*

設定した時間に自動的に用件を再生することができます。

***インデックス追加・削除機能**（39ページ）*

用件を分割したり、ふたつの用件をひとつにつなげることができます。

***重要マーク設定機能**（47ページ）*

用件の重要度に重要マークをつけることができます。用件は重要マークの数の多い順に自動的に並び替わります。

***ブックマーク設定機能**（35ページ）*

用件の途中に「ブックマーク」を設定し、設定したところから簡単に再生を始めることができます。

***デジタルVOR（自動音声録音スタート）機能**（25ページ）*

- **漢字表示もできる、見やすいバックライト付き液晶表示窓**

- **パソコン上での再生・編集ができるソフトウェア「Memory Stick Voice Editor 2.0」付属**

  付属のソフトウェアをパソコンにインストール*3)すれば、"メモリースティック"をICレコーダーから抜いて、パソコンに挿入するだけで手軽にパソコンに用件を取り込めます。

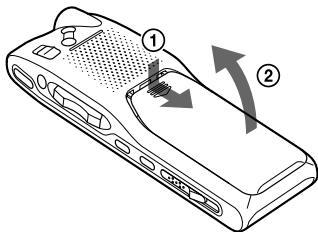
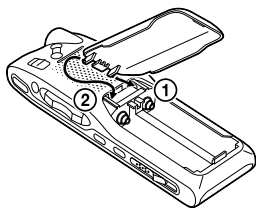
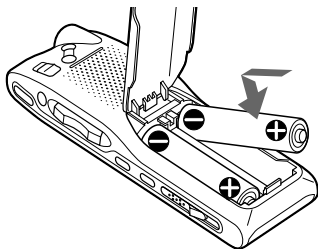
*1) 16MBメモリースティックをICD-MS500用としてのみ使用、初期状態（3フォルダ）で録音した場合。

*2) 16MBメモリースティックをICD-MS500用としてのみ使用、各フォルダに用件を1件ずつ録音した場合。

*3) Windows® XP Home Edition/XP Professional Edition/2000/Me/98/98 Second Edition（日本語版）用です。

準備

準備1：乾電池を入れる

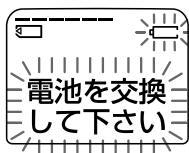
1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。

2 単４形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める。

電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは上の図のようにはめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、日付表示が点滅します。「準備2: 時計を合わせる」（18〜19ページ）の手順3〜5をご覧になり、時計を合わせてください。

乾電池を交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

残量は充分です。　**残量が少なくなってきました。**　**電池が消耗しています。電源が切れ、操作ができなくなります。**

以下の画面（英語表示では、「LOW BATTERY」）が表示されたら、電池を交換してください。

ご注意

- 電池を交換する際、消耗した電池を抜いてから３分以内に新しい電池を入れないと、時計設定画面（日付表示が点滅）に戻ってしまったり、日付・時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。
  なお、録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 電池を交換するときは、必ず2本とも新しい乾電池に交換してください。

乾電池の持続時間(ソニーアルカリ乾電池LR03(SG)使用時)

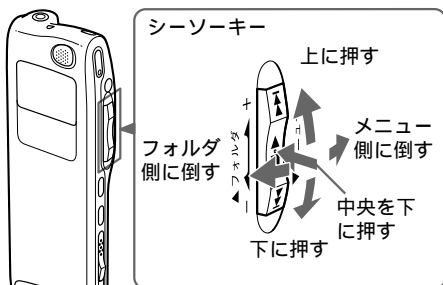
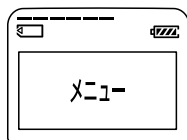
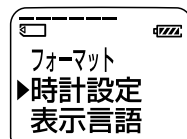
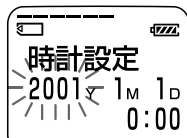
連続使用の場合：録音時　約10時間（SP)、 約12時間（LP)
　　　　　　　　再生時　約12時間＊（SP)、 約12時間＊（LP)

＊音量ボタンで中間レベル付近で内蔵スピーカーで再生した場合
＊電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

ご注意

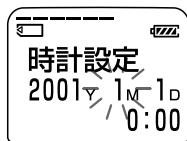
本機にはマンガン電池はお使いになれません。

準備2：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、日時表示が点滅します。手順4から始めてください。

1 シーソーキーをメニュー側に倒す。
メニュー画面が表示されます。

2 シーソーキーを上（▶▶I）に4回動かして「時計設定」（DATE&TIME）を選ぶ。

3 シーソーキー（■•▶）を押す。
時計設定画面が表示されます。

4 年、月、日、時、分を合わせる。

① シーソーキーを上下（I◀◀ / ▶▶I）に動かして「年」の数字を選ぶ。

② シーソーキー（■•▶）を押す。

「月」の数字が点滅します。

③ 同様にして、「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

④ 時報と同時にシーソーキー（■•▶）を押す。

メニュー画面に戻ります。

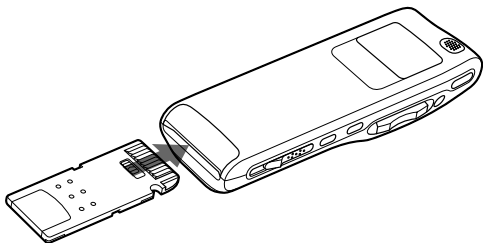
5 シーソーキーをメニュー側に倒す。

通常の画面に戻ります。

現在時刻を表示させるには

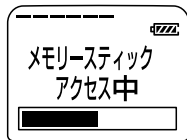
スリープ表示（64ページ）中に■停止ボタンを押すと、3秒間表示されます。

準備3 :“ メモリースティック ”を入れる

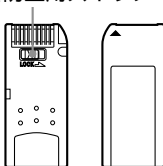
“メモリースティック”を端子面を上にして下図のように“メモリースティック”挿入口に挿入します。

ご注意

- “ メモリースティック ”は奥まできちんと差し込んでください。
- “ メモリースティック ”の向きを逆にして挿入しないでください。故障の原因となります。

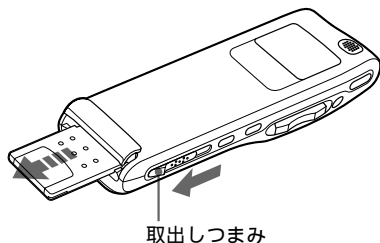
“ メモリースティック ”を入れると

下記の画面が出ます。お買い上げ後、初めて“メモリースティック”を入れたときや、用件の入っていない“メモリースティック”を入れたときは、“ メモリースティック ”内にフォルダが自動的に3つ（FOLDER01、FOLDER02、FOLDER03）作られます。

“ メモリースティック ”アクセス中のご注意

画面上で「メモリースティックアクセス中（ACCESS)」と表示が出ている間や、本体上部の録／再ランプがオレンジに点滅している間は、アクセス中です。アクセス中には“ メモリースティック ”を取り出したり、乾電池をはずさないでください。データが破壊されることがあります。

“ メモリースティック ”の誤消去防止について

誤消去防止用スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去などができなくなります。

“ メモリースティック ”を取り出すには

取出しつまみを矢印の方向にずらして、下図のように“ メモリースティック ”をメモリースティック挿入口から取り出します。

用件を録音する

付属の"メモリースティック"(16MB)で最大約347分(LPモード)／約130分(SPモード*)、最大964件の用件が録音できます**。

●録音／一時停止ボタンを押すと、自動的に選択したフォルダ内の一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始められます。

例：

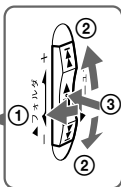
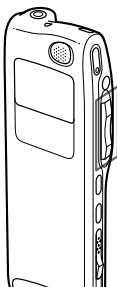
用件1	用件2	新しい用件	空きスペース

* お買い上げ時は、SPモードが選択されています。SPモードとLPモードを混ぜて録音すると録音可能時間は130分〜347分の間になります。

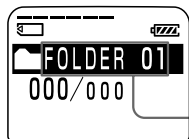
**付属の"メモリースティック"をICD-MS500用としてのみ使用、初期状態(3フォルダ)で録音した場合。録音可能時間、用件数は使用する"メモリースティック"の容量および使用条件により異なります。詳しくは94ページ「システム上の制約」をご覧ください。

ご注意

長時間録音するときは、新しい電池を入れてください。録音を始める前に必ず電池残量表示(17ページ)を確認してください。

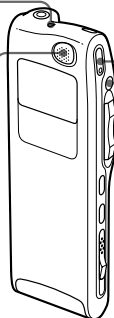
1 録音したいフォルダを選ぶ

①シーソーキーをフォルダ側に倒す。

フォルダが選択されます。

②シーソーキーを上下(⏮/⏭)に何度か押して録音したいフォルダを表示させる。

フォルダのタイトル(49ページ)

③シーソーキー(■•▶)を押して決定する。

新しくフォルダを追加する場合は43ページをご覧ください。

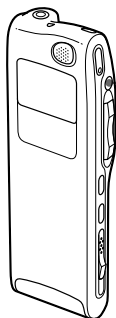
2 録音を始める

①●録音／一時停止ボタンを押す。

●録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

カウンター表示（メニューで設定した表示（62ページ）が表示されます）

②内蔵マイクに向かって話す。

ご注意
録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されてしまうことがありますので、ご注意ください。

3 録音を止める

■停止ボタンを押す。

今録音した用件の初めで停止します。
次に録音するとき、フォルダが同じ場合は、手順1は省略できます。

ご注意
録／再ランプが赤またはオレンジに点灯・点滅中は" メモリースティック "を抜いたり、乾電池をはずさないでください。データが破損するおそれがあります。

（次ページへ続く）

その他の操作

録音の途中で止めるには（一時停止）

一時停止する*	●録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、「一時停止（PAUSE)」表示が点滅します。
一時停止を解除する	もう一度●録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■停止ボタンを押します。）

* 録音を一時停止して約1時間たつと、一時停止は解除され、録音停止になります。

今録音したばかりの用件を聞くには

録音中にシーソーキー（■•▶）を押すと、録音が解除され今録音した用件の初めから聞くことができます。

録音中に早戻し（レビュー）するには

録音中にシーソーキーを下（I◀◀）に押すと、録音が解除され今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。シーソーキーを元に戻すと、戻したところから再生が始まります。
録音一時停止状態でも同様に操作できます（早戻し中に再生音は聞こえません)。続けて上書き録音（38ページ）をしたいときになど便利です。

録音済みの用件に追加録音、上書き録音をするには

37、38ページをご覧ください。

音がしたとき自動的に録音を始めるには—デジタルVOR機能

メニューの中で、VOR（自動音声スイッチ）の設定ができます。「ON」に設定すると、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まり、「VOR録音一時停止（VOR REC PAUSE)」が表示されます。録音中でもVORの設定はできます。詳しくは、68ページをご覧ください。

ご注意
VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り替えてください。マイク感度を切り替えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、VORを「OFF」に設定してください。

内蔵マイクの感度を切り替えるには

録音中でもメニューを表示し、マイク感度 (MIC SENS)を設定することができます（68ページ)。用途に合わせ、内蔵マイクの感度を、「会議」(H）または「口述」(L）に切り替えます。

録音中の音を聞く（モニターする）には

付属のイヤホンをイヤホンジャックに差し込んでください。
モニター音は音量+/－ボタンで調節できます。（録音レベルは一定です。）

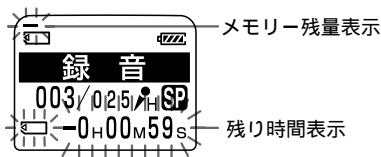
ご注意
録音モニター中に音量を上げすぎたり、イヤホンをマイクに近づけすぎたりすると、イヤホンの音をマイクが拾い、ピーッという音（ハウリング）が生じることがあります。

外部マイクや他の機器から録音するには

マイク（MIC）ジャックに別売りのミニプラグ付きマイクロホンをつないだり、別売りの接続コードRK-G64を使ってテープレコーダーやテレビ、ラジオのイヤホン端子とつなぎます。外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

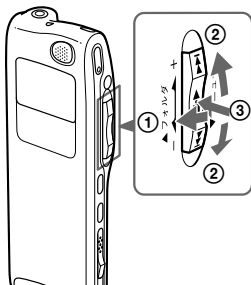
（次ページへ続く）

メモリー残量表示について

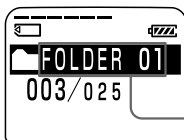
“ メモリースティック ”の残量が減るとメモリー残量表示が一つずつ消えていきます。
“ メモリースティック ”に音声データ以外のデータが入っている場合には、それを除いた空き容量残量が表示されます。録音可能な残り時間は、残り時間表示モードで確認することができます。なお、録音中でもメニューで表示モードの切り替えができます（62ページ）。

残り時間が5分を切ると、メモリー残量表示が点滅します。さらに残り時間が1分を切ると、残り時間表示が点滅します（62ページの表示モードの設定には関係なく残り時間表示となります）。メモリーがいっぱいになると、自動的に録音が止まり、「ピピピピ」という警告音が鳴り、「メモリー残量がありません（NO MEMORY SPACE)」が表示されます。録音を続けるには、不要な用件をいくつか消去してください（31ページ）。

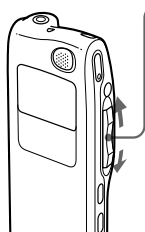
録音した用件を聞く

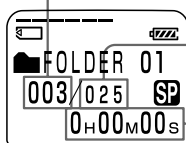
あらかじめ録音してある用件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。今録音したばかりの用件を聞くには、手順3から行ってください。

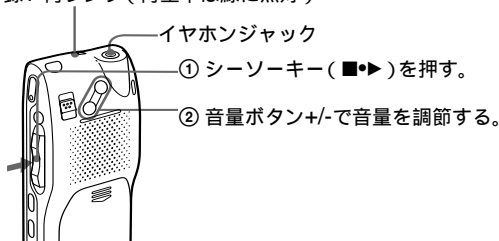
1 フォルダを選ぶ

①シーソーキーをフォルダ側に倒す。

フォルダが選択されます。

②シーソーキーを上下（I◀◀/▶▶I）に何度か押して再生したい用件の入ったフォルダを表示させる。

③シーソーキー（■•▶）を押して決定する。

2 用件番号を選ぶ

シーソーキーを上下（I◀◀/▶▶I）に動かして、聞きたい用件の番号を表示させる。

- 下（I◀◀）に動かす:前の用件へ
- 上（▶▶I）に動かす:次の用件へ

（次ページへ続く）

3 再生を始める

1つの用件の再生が終わると、次の用件の初めで停止します。
フォルダ内の最後の用件の再生が終わると、その用件の初めに戻って停止します。

イヤホンやヘッドホンで聞くには
付属のイヤホンまたは別売りのイヤホンやヘッドホンをイヤホンジャックに差し込んでください。スピーカーからは音が出なくなります。両耳タイプのイヤホンまたはヘッドホンを差すと、両耳から聞こえます。（ただし、音声はモノラルです。）

その他の操作

再生の途中で止めるには

再生の途中で停止し、用件の頭に戻る	■停止ボタンを押す。
再生の途中、その位置で停止する*（一時停止）	シーソーキー（■•▶）を押す。 もう一度シーソーキー（■•▶）を押すと、止めたところから再生が始まります。

* 約1時間たつとその位置で停止状態になります。

用件を選ぶには

今聞いている用件の頭に戻る*	シーソーキーを下（I◀◀）に一度押す。**
前の用件、さらに前の用件に戻る	シーソーキーを下（I◀◀）に何回か押す。 押し続けると連続して戻ります。
次の用件に進む	シーソーキーを上（▶▶I）に一度押す。**
さらに次の用件に進む	シーソーキーを上（▶▶I）に何回か押す。 押し続けると連続して進みます。

* ブックマーク（35ページ）を設定してある場合は、用件の頭ではなく、ブックマークの位置まで戻ります。

**イージーサーチ（EASY-S）が「OFF」に設定されている場合の操作です。「ON」に設定されている場合の操作は30ページの「聞きたいところをすばやく探すには —イージーサーチ機能」をご覧ください。

用件の再生スピードを調節するには — DPC（デジタル•ピッチ•コントロール）

メニューのDPCで、再生スピードの調節ができます（34ページ）。再生時には、「速聞き再生（FAST PLAY）」または「遅聞き再生（SLOW PLAY）」の表示が3回点滅します。再生中でも、DPCの設定はできます。

フォルダ内の用件を続けて聞くには— 連続再生

メニューの連続再生（CONT.）で連続再生の設定ができます。「ON」に設定すると、フォルダ内の用件を連続して再生することができます（68ページ）。再生中でも、連続再生の設定はできます。

再生中に早送り／早戻しするには（キュー／レビュー）

- 早送り（キュー）：再生中にシーソーキーを上（▶▶I）に押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：再生中にシーソーキーを下（I◀◀）に押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ（4秒単位で）早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。しばらくそのままにすると、高速での早送り／早戻しになります。

早送り／早戻し中は、表示モード（62ページ）の設定に関係なく、カウンター表示になります。一時停止中でも同様の操作ができます。聞きたいところで離すと、そこで一時停止状態となります。

（次ページへ続く）

録音した用件を聞く（つづき）

☞ **最後の用件の終わりまで再生または早送り（キュー）すると**
最後の用件の終わりまで来ると、「用件終了（MSG. END）」表示が3秒間点滅します。
点滅中は録／再ランプは緑に点灯しています（再生音は聞こえません）。
「用件終了（MSG. END）」の点滅中にシーソーキーを下（⏮）に押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
「用件終了（MSG. END）」の点滅と録／再ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。
最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、シーソーキーを上（⏭）に押し続けていったん用件の最後まで早送りして、「用件終了（MSG. END）」表示の点滅中にシーソーキーを下（⏮）に押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

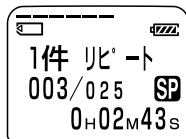
聞きたいところをすばやく探すには ―イージーサーチ機能

メニューでイージーサーチ（EASY-S）を「ON」に設定しておくと、再生中または再生一時停止中にシーソーキーを上下（⏮/⏭）に何度か押して聞きたいところまで早送り、早戻しをして聞くことができます（69ページ）。
シーソーキーを下（⏮）に1回押すごとに約3秒前、上（⏭）に1回押すごとに約10秒先を再生します。会議録音などで、聞きたいところをすばやく探すのに便利です。

同じ用件を繰り返し聞くには ― 1件リピート再生

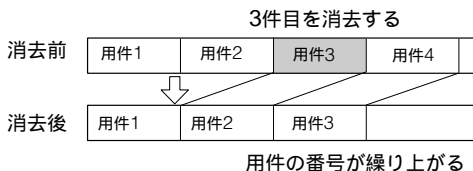
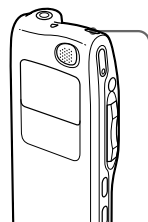
再生中にシーソーキー（■•▶）を1秒以上押します。「1件リピート」が表示され、その用件が繰り返し再生されます。
普通の再生に戻るには、シーソーキー（■•▶）を押します。再生を止めるには、■停止ボタンを押します。

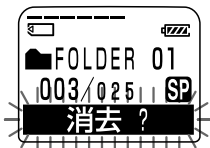
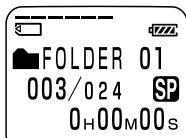
1件 ﾘﾋﾟｰﾄ
003/025 SP
0H02M43S

☞ **指定した区間を繰り返し聞くには（A−Bリピート）**
指定したA点とB点間を繰り返し再生できます。36ページをご覧下さい。

録音した用件を消去する

録音した用件を1件ずつ、または1つのフォルダ内の全用件を一度に消去することができます。
一度消去した内容はもとに戻すことはできませんので、ご注意ください。

1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去することができます。
用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。

① **消去したい用件を再生中に消去ボタンを押す。または、停止中に消去ボタンを１秒以上押す。**

「ピピーピ」という確認音が鳴り、用件番号と「消去？(ERASE?)」が点滅し、消去したい用件の初めと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

② **「消去？(ERASE)」の点滅中（用件の再生中）に消去ボタンをもう1度押す。**

用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。(例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。)

（次ページへ続く）

録音した用件を消去する（つづき）

☞ **途中で消去をやめるには**
手順②の前に■停止ボタンを押します。

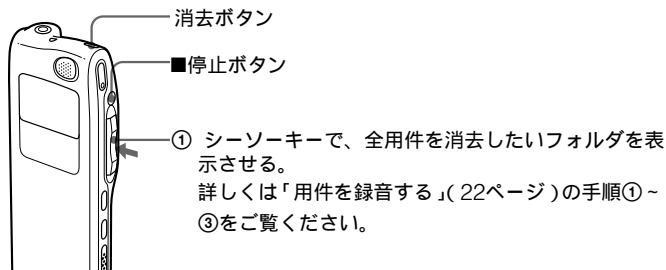
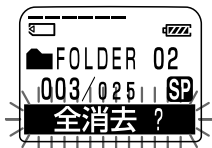
☞ **他の用件を消去するには**
手順①と②を繰り返します。

☞ **ひとつの用件の一部分だけ消去するには**
インデックスを追加（39ページ）して、消去する部分としない部分に分けてから、消去したい部分の用件番号を選んで前ページの操作をします。

ご注意
用件を消去できないときはエラーメッセージが表示されます。詳しくは「故障かな？と思ったら」（88ページ）をご覧ください。

フォルダの中身を一度に消去する

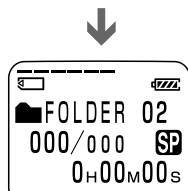
1つのフォルダの中のすべての用件を一度に消去することができます。フォルダ自体は削除されません。フォルダの削除について詳しくは、44ページをご覧ください。

① **シーソーキーで、全用件を消去したいフォルダを表示させる。**
詳しくは「用件を録音する」（22ページ）の手順①〜③をご覧ください。

② **■停止ボタンを押しながら、消去ボタンを1秒以上押す。**
「全消去？(ERASE ALL?)」が10秒間点滅します。

③ **点滅している間に消去ボタンを押す。**

途中で消去をやめるには

手順③の前に■停止ボタンを押します。

ご注意

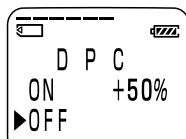
- 「全消去中 (ERASE ALL)」と表示中や録／再ランプがオレンジに点滅中は“メモリースティック”を抜いたり、乾電池をはずさないでください。データが破壊されるおそれがあります。
- フォルダ内の全用件消去ができないときはエラーメッセージが表示されます。詳しくは「故障かな？と思ったら」（88ページ）をご覧ください。

再生スピードを調節する
－DPC（デジタル•ピッチ•コントロール機能）

再生スピードを通常の約2倍（+100%）から半分（-50%）の間で調節できます。その際、音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。再生中に設定することもできます。

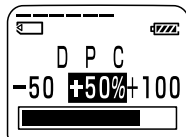
1 シーソーキーをメニュー側に倒す。

メニューモードに入り、「マイク感度」（MIC SENS）が表示されます。

2 シーソーキーを上下（I◀◀ /▶▶I）に押して、「DPC」を表示させ、シーソーキー（■•▶）を押す。

DPC設定画面が表示されます。

3 再生スピードを設定する。

① シーソーキーを上下（I◀◀ /▶▶I）に押して、「ON」を選択し、シーソーキー（■•▶）を押す。
再生スピード設定画面が表示されます。

② シーソーキーを上下（I◀◀ /▶▶I）に押し、再生スピードを設定する。
- 遅聞き再生（5%単位で-50%まで）:下（I◀◀）
- 速聞き再生（10%単位で+100%まで）:上（▶▶I）

③ シーソーキー（■•▶）を押す。

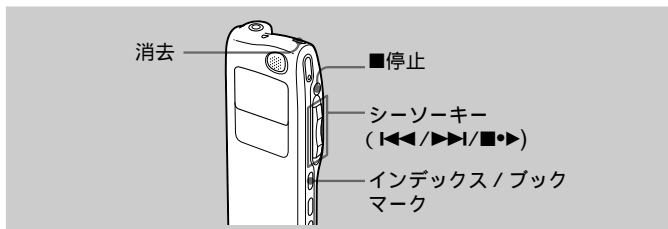
4 シーソーキーをメニュー側に倒す。

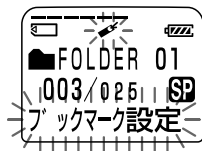
通常の表示に戻ります。

通常の再生に戻すには

手順2でシーソーキー（■•▶）を押して「OFF」を選びます。

ブックマークを設定する

用件の途中でブックマークを設定しておくと、シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、ブックマークの位置まで飛んで再生を始めることができます。

ブックマークをつけたい場所を再生中、または停止中にインデックス／ブックマークボタンを1秒以上押します。

ブックマーク表示（✐）が3回点滅し、ブックマークが設定されます。

ブックマークの位置から再生を始めるには

停止中にシーソーキーを上下（⏮/⏭)に押します。ブックマーク表示が3回点滅したら、シーソーキー（■•▶)を押します。

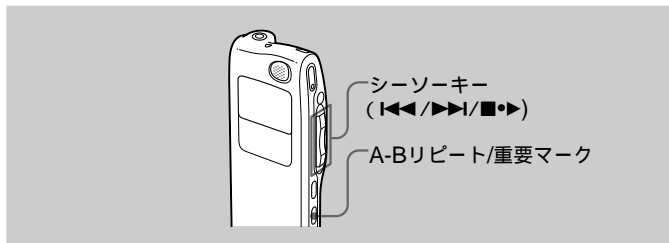
ブックマークを削除するには

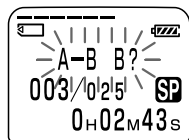
停止中にシーソーキーを上下（⏮/⏭)に押してブックマークを消去したい用件の番号を選び、インデックス／ブックマークボタンを押しながら消去ボタンを1秒以上押します。ブックマーク表示と「ブックマーク削除？(ERASE MARK?)」が点滅中にもう一度消去ボタンを押します。

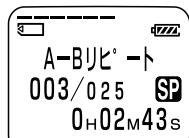
ご注意

- １つの用件に設定できるブックマークは1つのみです。
- すでにブックマークの設定された用件に新たにブックマークを設定すると、古いブックマークは解除され、新しい位置にブックマークが移動します。

指定した区間を繰り返し聞く—A-Bリピート

用件の再生中に、繰り返し聞きたい区間の最初（A点）と最後（B点）を指定します。

1 再生中にA-Bリピート／重要マークボタンを短く押して、A点を指定する。

「A-B B?」が点滅します。

2 もう一度A-Bリピート／重要マークボタンを短く押して、B点を指定する。

「A-B」と表示され、指定した区間が繰り返し再生されます。

普通の再生に戻すには

シーソーキー（■•▶）を押します。

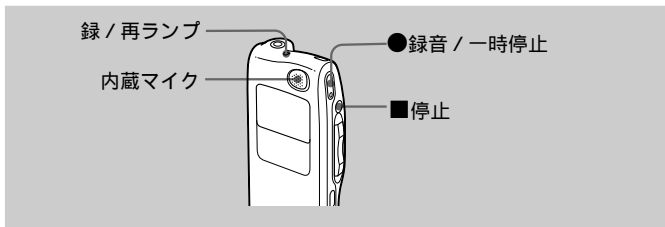
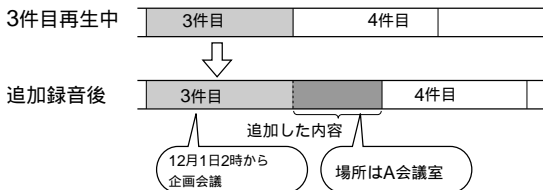
A-Bリピート再生を止めるには

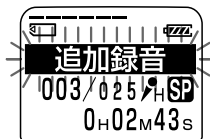
■停止ボタンを押します。

ご注意

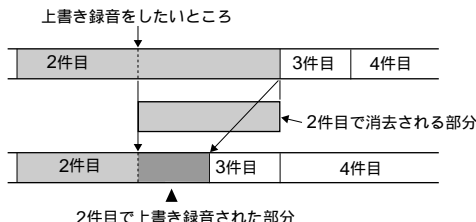
- 2件以上の用件にまたがってA-Bリピートの区間を指定することはできません。
- B点を指定しないと、その用件の終わり（または初め）が自動的にB点になります。

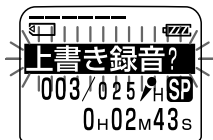
録音済みの用件に追加または上書き録音する

録音済みの用件に追加録音する

用件を再生中に、その用件に追加して録音することができます。新しく追加した内容は、どこで録音を始めても、再生中の用件の最後に追加されます。用件番号は新たにつけられるのではなく、再生中の用件の一部として数えられます。

1 再生中に●録音／一時停止ボタンを1秒以上押す。

「追加録音 (ADD REC)」表示が3回点滅し、録／再ランプは赤に変わります。再生中の用件に追加録音されます。

2 ●録音／一時停止ボタンまたは■停止ボタンを押して録音を止める。

録音済みの用件の途中から上書き録音する

用件の中の指定した場所に新たに録音することができます。すでに録音してあった部分は消去されます。

1 再生中に●録音／一時停止ボタンを短く押す。

「上書き録音？（OVERWRITE?）」表示が点滅し、録／再ランプが赤く点滅します。

2 ●録音／一時停止ボタンを押して録音を開始する。

「録音（RECORDING）」が表示され、録／再ランプは赤く点灯します。

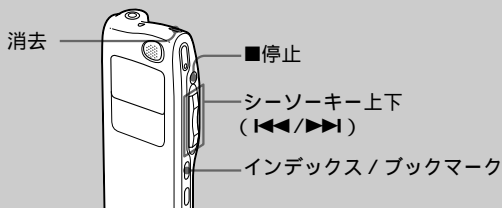
3 ■停止ボタンを押して録音を止める。

ご注意

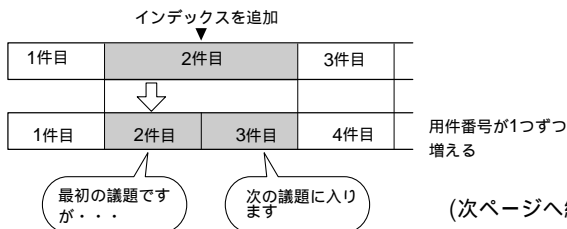
- 追加・上書き録音する部分は、再生中の用件の録音モード（SPまたはLP）と同じ録音モードで録音されます。メニューで設定した録音モード（69ページ）とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- メモリー残量が不足している場合は上書き録音ができません。詳しくは「故障かな？と思ったら」（88ページ）をご覧ください。

用件をふたつに分ける／つなげる
ーインデックス追加／削除

ひとつの用件の途中に「インデックス」を追加してふたつに分割したり、「インデックス」を削除してふたつの用件をひとつにつなげることができます。

録音中／再生中 ー インデックス追加ができます。（下記参照）
停止中 ー インデックス削除ができます。（41ページ参照）

用件をふたつに分ける（インデックス追加）

再生中または録音中に、用件に「インデックス」を追加し、用件を分割することができます。

インデックスを追加すると、その場所から新たな用件番号がつくため、会議など長時間録音の場合に、再生したい場所が素早く探せるので便利です。

(次ページへ続く)

用件をふたつに分ける／つなげる ― インデックス追加／削除（つづき）

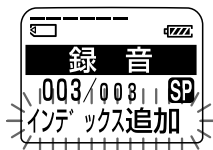
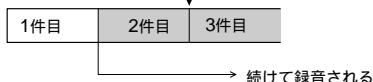
録音中にインデックスを追加するには

用件の録音中に、インデックスを追加したいところでインデックス／ブックマークボタンを押す。

押したところから新しい用件番号がつき、「インデックス追加（ADD INDEX）」が3回点滅します。2つの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。

インデックスを追加

1件目	2件目	3件目

続けて録音される

☞ 録音一時停止中（24ページ）にもインデックスを追加できます。

再生中にインデックスを追加するには

分割したい用件を再生し、インデックスを追加したいところでインデックス／ブックマークボタンを押す。

用件が分割され、新しい用件番号が3回点滅します。以降の用件番号はひとつずつ送られます。

インデックスを追加した部分を探して聞くには

分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様にシーソーキーの上下（⏮/⏭）を押して再生する部分を探してください。

☞ **分割した用件を続けて聞くには**
メニューで「連続再生（CONT.)」を選ぶと便利です（68ページ）。

ご注意

- インデックスを追加するには、メモリースティックに一定の空き容量が必要です。詳しくは「システム上の制約」（94ページ）をご覧ください。
- 「インデックスが追加できません（INDEX FULL)」と表示されたときは、インデックス追加ができません。用件数を減らしてからインデックス追加を行ってください。詳しくは「システム上の制約」（94ページ）をご覧ください。
- 分割した後ろの用件に付く録音日時は分割する前の用件の録音日時（録音開始日時）と同じになります。
- 用件タイトル（52ページ）の付いた用件にインデックス追加をした場合、分割した後ろの用件にも同じタイトルが付きます。
- 重要マーク（47ページ）の付いた用件にインデックスを追加した場合、分割した後ろの用件にも同じ重要マークが付きます。
- ブックマークが設定されている同じ場所にインデックスを追加した場合、ブックマークは削除されます。

用件をつなげる（インデックス削除）

「インデックス」を削除することで2つの用件を１つの用件にまとめることができます。

インデックスを削除
▼

1件目	2件目	3件目	4件目

⇩

1件目	2件目	3件目

用件番号が1つずつ減る

停止中に操作します。

1 シーソーキーの上下（⏮/⏭）を押して、つなげたい2つの用件のうち、後ろのほうの用件番号を選ぶ。

(次ページへ続く)

用件をふたつに分ける／つなげる — インデックス追加／削除（つづき）

2 インデックス／ブックマークボタンを押しながら消去ボタンを1秒以上押す。

「インデックス削除？(ERASE INDEX?)」表示が10秒間点滅します。

3 点滅している間に消去ボタンを押す。

2つの用件が1つの用件にまとまり、用件番号が前ページの図のようにつけ直されます。

インデックスの削除を途中でやめるには

手順3の前で■停止ボタンを押します。

ご注意

- 用件をつなげると、後ろの用件のアラーム設定（56ページ）、重要マーク（47ページ）、ブックマーク（35ページ）などは削除されます。
- ブックマーク（35ページ）のついた用件の場合、上記の操作でまずブックマークが解除されます。もう一度上記の操作を行うと、インデックスが削除されます。

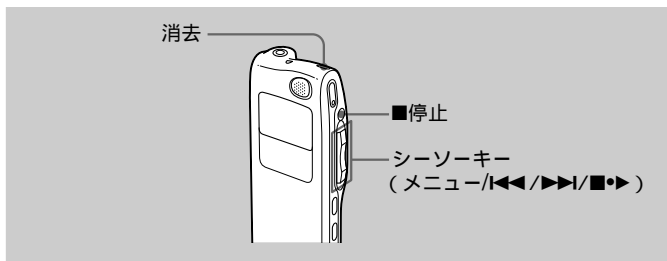
インデックス追加・削除についてのご注意

- ICレコーダーの録音方式のシステム上の制約により、インデックスの追加／削除ができなくなることがあります（94ページ参照）。
- ファイルの圧縮形式によっては、インデックスは追加できません（94ページ）。

フォルダを追加／削除する

初期設定ではFOLDER01、02、03の3個のフォルダが作られていますが、お好みで新しいフォルダを増やすことができます。また、使わなくなったフォルダを削除することができます。

ご注意

作成できるフォルダ数の上限は、使用する“ メモリースティック ”の容量および使用条件により異なります。
システム上の制約（94ページ）により新しいフォルダを追加できない場合は、「フォルダが追加できません (FOLDER FULL)」と表示されます。付属の16MB“ メモリースティック ”を本機専用として使用し、各フォルダに用件を１件ずつ録音した場合は最大340個のフォルダが作れます。

フォルダを追加する

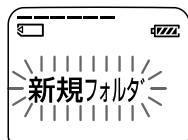
1 シーソーキーをメニュー側に倒す。

メニュー画面が表示されます。

2 シーソーキーを下（I◀◀）に2回動かして「フォルダ追加 (NEW FOLDER)」を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。

フォルダの新規作成画面が表示されます。

(次ページへ続く)

3 **シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して「YES」を選び、（■•▶）を押す。**
「新規フォルダ（NEW FOLDER)」表示が3回点滅し、フォルダが追加されます。

追加されたフォルダのフォルダタイトルについて
自動的に「FOLDER○○」というタイトルが付きます。「FOLDER 04」「FOLDER AB」など、2桁の数字またはアルファベットの組み合わせになります。現在のフォルダに欠番がある場合は、空いている番号（アルファベット）が自動的に割り当てられます。
フォルダタイトルはお好みで変更することができます（49ページ）。

フォルダを削除する

フォルダに用件が1件も入っていない場合にフォルダの削除ができます。

1 **削除したいフォルダを表示させる。**
フォルダの選びかたについて詳しくは、「用件を録音する」の手順1（22ページ）をご覧ください。

ご注意
用件が入っているフォルダは削除できません。用件をすべて消去するか（33ページ）、他のフォルダへ移動させて（46ページ）からフォルダを削除してください。

2 **■停止ボタンを押しながら消去ボタンを1秒以上押す。**
「フォルダ削除？(ERASE FOLDER?)」表示が10秒間点滅します。

3 点滅している間に消去ボタンを押す。

フォルダが削除されます。

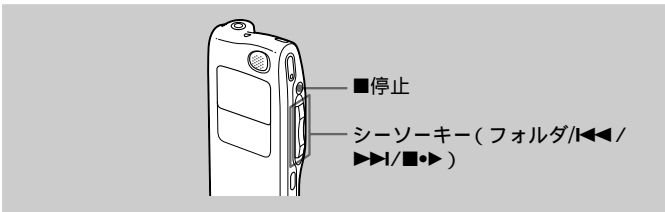
フォルダの削除を途中でやめるには

手順3の前で■停止ボタンを押します。

ご注意

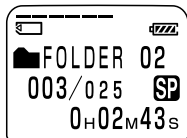
- 最後に残った1つのフォルダは削除することができません。
- タイトルに「02」などの数字が付いたフォルダを削除した場合、その削除した番号は欠番となり、それ以降の数字が付いているフォルダタイトルには変更がありません。

用件を別のフォルダに移動する

録音済みの用件を、別のフォルダに移動させることができます。

例：FOLDER02の3件目の用件をFOLDER03に移動する場合

1 移動させたい用件を再生する。

2 用件の再生中にシーソーキーをフォルダ側に倒す。

移動先のフォルダが反転表示、「用件移動?（MOVE MSG.?）」が点滅表示し、用件の頭の5秒と最後の5秒が10回繰り返し再生されます。

3 シーソーキーを上下（I◀◀/▶▶I）に押して移動先のフォルダを選び、シーソーキー（■•▶）を押して決定する。

用件が移動先のフォルダに移動します。そのフォルダの録音日時順または、重要マーク順に従った場所に挿入されます。

移動元フォルダ
移動先フォルダ
FOLDER 02
FOLDER 03
用件移動 ?

☞ **途中でフォルダの移動をやめるには**
手順3の前に■停止ボタンを押します。

ご注意

用件を移動すると、もとのフォルダからは用件がなくなり、移動先のフォルダのみに用件が入ります。（用件をコピーする機能ではありません。）

用件に優先順位をつけて並べ替える－重要マーク

通常、用件は各フォルダの中で録音日時の古い順に番号が付けられて並んでいます。これを、重要な用件が先に来るように、重要マーク（▲）を付けて並べ替えることができます。
「▲▲▲」（最重要）、「▲▲」、「▲」、無印の4段階に並べ替えることができます。停止中または再生中に操作ができます。

停止中に重要マークを付ける

1 重要マークを付けたい用件を表示させる。

2 A-Bリピート／重要マークボタンを1秒以上押す。

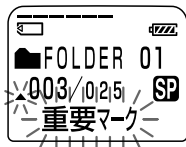
「重要マーク（PRIORITY）」表示と▲マークが点滅します。

3 点滅している間にA-Bリピート／重要マークボタンを何度か押して▲の数を選ぶ。

点滅から点灯に変わると、設定が完了し、用件が並び替わります。

再生中に重要マークをつける

1 重要マークを付けたい用件の再生中にA-Bリピート／重要マークボタンを1秒以上押す。

「重要マーク（PRIORITY）」表示と▲マークが点滅し、用件の初めと終わりの5秒が10回ずつ再生されます。

2 A-Bリピート／重要マークボタンを何度か押すか、シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して▲の数を選ぶ。

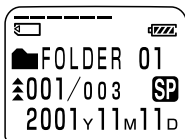
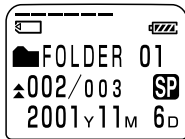
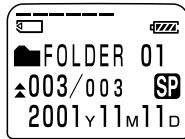
3 シーソーキー（■•▶）を押して決定する。

設定が完了し、用件が並び替わります。

重要マークの付いた用件は

各フォルダの中で、▲の数の多い順に自動的に並べ替えられます。▲のない用件は、▲のある用件の後ろに並びます。

☞ ▲の数が同じ用件が2件以上ある場合は録音日時の古い順に並びます。

例：同じフォルダに用件が3件入っているとき

1番目

2番目

3番目

ご注意

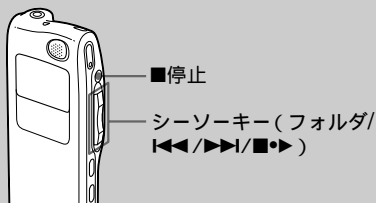
付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」上で重要マークを付けた場合、パソコン上で重要マーク順にソートしないと、ICレコーダーでは重要マーク順には並びません。

フォルダや用件に名前を付ける

― フォルダタイトル／用件タイトル／ユーザー名

フォルダや用件の名前（タイトル）や、ユーザー名を自分で設定することができます。

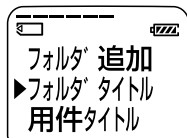
ご注意
本機で入力できるのは、半角カナと、英数字のみです。

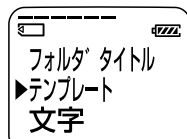
付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使ってパソコン上でフォルダや用件の名前（タイトル）の入力も可能です。詳しくは「Memory Stick Voice Editor」オンラインヘルプをご覧ください。この場合、全角や漢字、かなのタイトルの設定もできますが、本機で対応していない一部の特殊文字は文字化けすることがあります（55ページ）。

フォルダタイトルを付ける

フォルダには自動的に「FOLDER03」などのようにナンバリングされたタイトルが付いていますが、本機で文字を入力したり、あらかじめ用意されているテンプレートを選択することで、お好みのタイトルを付けることができます。

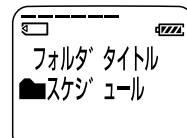
1 シーソーキーをメニュー側に倒す。
メニュー画面が表示されます。

（次ページへ続く）

2 **シーソーキーを下（⏮）に3回動かして「フォルダタイトル（FOLDER NAME）」を選ぶ。**

3 **シーソーキー（■•▶）を押す。**

4 **シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、「テンプレート（TEMPLATES）」または「文字（ALPHABET）」を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。**

5 **タイトルを付ける。**

テンプレートからタイトルを選択する場合：

シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、テンプレートに登録されているタイトルを選択し、シーソーキー（■•▶）を押して決定します。

テンプレートに登録されているタイトル

日本語表示の場合
スケジュール、会議、メモ、会社、出張、講演、研修、スピーチ、アクション、プライベート、アイデア、買い物、お店、歌、旅行、授業、レッスン、インタビュー、伝言、電話、出費

英語表示の場合
ACTION、SCHEDULE、MEETING、OFFICE、HOME、MEMO、REPORT、SPEECH、INTERVIEW、TRAVEL、PERSONAL、PLACE、SHOP LIST、CLASS、MESSAGE、EXPENSE

☞● 日本語のテンプレートは表示言語（69ページ）が「日本語」のとき、英語のテンプレートは「ENGLISH」のときにそれぞれ選択ができます。決定したタイトルは、表示言語を切り替えてもそのまま表示されます。
● テンプレートから選んだフォルダタイトルは、文字入力の方法で変更することもできます。

文字入力をしてタイトルを付ける場合：

フォルダタイトルは半角44文字まで入力可能です。現在のフォルダタイトルの最後の文字の後ろにカーソルが点滅します。そのまま後ろに文字を追加するか、現在の文字を修正します。

文字入力と修正のしかたについては54ページをご覧ください。

6 シーソーキー（■•▶）を1秒以上押して、入力した内容を決定する。

7 シーソーキーをメニュー側に倒す。

通常の画面に戻ります。

☞ **長いフォルダタイトルを付けた場合は**

本機の表示窓で表示できるのは半角10文字（全角5文字）までです。それよりも長いタイトルを付けた場合は、フォルダタイトルを選択する場面（手順5）でスクロール表示されます（通常の画面ではスクロールされません）。

☞ **タイトル入力を途中でやめるには**

■停止ボタンを押します。

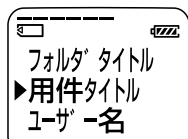
フォルダや用件に名前を付ける－ *フォルダタイトル／用件タイトル／ユーザー名（つづき）*

用件タイトルを付ける

用件には自動的にタイトルは付きませんが、本機で文字を入力することでお好みのタイトルを付けることができます。

1 シーソーキーをメニュー側に倒す。

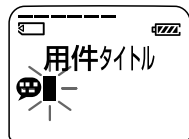
メニュー画面が表示されます。

2 シーソーキーを下（I◀◀）に4回動かして「用件タイトル（MSG. NAME)」を選ぶ。

3 シーソーキー（■•▶）を押す。

用件タイトル入力画面が表示されます。

4 タイトルを入力する。

用件タイトルは半角254文字まで入力可能です。

文字入力と修正のしかたについては、54ページをご覧ください。

5 シーソーキーを1秒以上押して、入力した内容を決定する。

6 シーソーキーをメニュー側に倒す。

通常の画面に戻ります。

☞ **長い用件タイトルを付けた場合は**

本機の表示窓に表示できるのは半角10文字（全角5文字）までです。

それよりも長いタイトルを付けた場合は、表示モードを切り替えたときや用件の再生中などでスクロール表示されます。

☞ **タイトル入力を途中でやめるには**

■停止（STOP）ボタンを押します。

ユーザー名を付ける

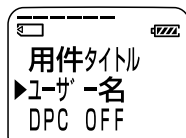
ICレコーダー本体のユーザー名を設定すると、用件を録音したときに、用件に対してユーザー名が自動的に設定されます。付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」で用件を表示したときに、「ユーザー名」として表示されます。

ご注意

- 本機では、ユーザー名は表示されません。
- 入力できるのは、半角カナと、英数字のみです。

1 シーソーキーをメニュー側に倒す。

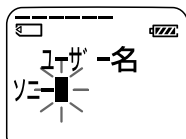
メニュー画面が表示されます。

2 シーソーキーを下（I◀◀）に5回動かして「ユーザー名（USER NAME）」を選ぶ。

3 シーソーキー（■•▶）を押す。

ユーザー名入力画面が表示されます。

4 ユーザー名を入力する。

ユーザー名は半角20文字まで入力可能です。

文字入力と修正のしかたについては、54ページをご覧ください。

5 ジョグレバーを1秒以上押して、入力した内容を決定する。

6 シーソーキーをメニュー側に倒す。

通常の画面に戻ります。

ユーザー名入力を途中でやめるには

■停止ボタンを押します。

文字入力のしかた

フォルダタイトル（50ページ手順5）、用件タイトル（52ページ手順4）、またはユーザー名（53ページ手順4）の文字入力画面（カーソルが点滅している状態）で、下記の操作をします。

文字を入力するには

①シーソーキーを上下（I◀◀/▶▶I）に押して、文字を選択する。
表示される順番は「入力できる文字一覧」を参照してください。

②シーソーキー（■•▶）短く押して決定する。
カーソルが次の文字に移動します。

③同様に次の文字も入力する。

文字を修正するには

入力を間違えたときや、すでに入力済みのタイトルを修正するときは、消去ボタンを1秒以上押して全文字を消去してから入力し直すか、以下の操作をして必要な部分を修正します。

①修正したい文字にカーソルを合わせる。
カーソルを戻す（左に移動）にはインデックス/ブックマークボタンを、進める（右に移動）にはシーソーキー（■•▶）を短く押します。

②カーソルを合わせた場所でシーソーキーを上下（I◀◀/▶▶I）に押して新しい文字を選ぶ。
不要な文字を削除し、それ以降の文字を1文字ずつつめるには、削除する文字にカーソルを合わせて消去ボタンを短く押します。

③シーソーキー（■•▶）を押してカーソルを次の文字へ移動させ、同様に他の文字も修正する。

ご注意
文字を挿入することはできません。挿入したい場合は、挿入する場所から後ろの文字を上書きして入力し直してください。

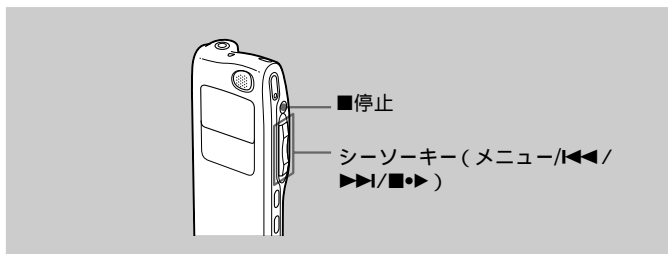
文字入力の際のボタンの割り当て

ボタン	押しかた	動作
シーソーキー 中（■●▶）を押す	短く 長く	文字決定（カーソル進む） タイトル決定（入力終了）
シーソーキー 上（▶▶I）に押す	短く 長く	入力文字の選択（次へ） 入力文字の早送り
シーソーキー 下（I◀◀）に押す	短く 長く	入力文字の選択（前へ） 入力文字の早戻し
シーソーキーをフォルダ側に倒す	短く	文字種類（カナ→アルファベット→記号）の切り替え
消去	短く 長く	カーソルを合わせた文字を1文字削除 全文字削除
インデックス/ブックマーク	短く 長く	カーソルを左に1つ戻す カーソルを左に連続して戻す

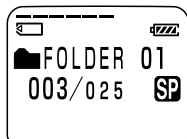
入力できる文字一覧

文字の種類	表示される順番
カタカナ（大文字）	ア イ ～ ヲ ン
カタカナ（小文字）	ァ ィ ゥ ェ ォ ャ ュ ョ ッ
記号1	″（濁点）° ー ’, / :（スペース）
アルファベット（大文字）	A B C D ～ W X Y Z
記号2	’, / :（スペース）
アルファベット（小文字）	a b c d ～ w x y z
記号2	’, / :（スペース）
数字	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
記号3	! ″ # $ % & ( ) * . ; < = > ? @ _ ` + -‘ , / :（スペース）

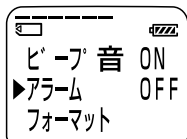
希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生することができます。
打ち合わせなどの時間にアラームを設定して、スケジューラーのように使うこともできます。所定の日付を指定したり、毎週同じ曜日を指定したり、毎日同じ時刻を指定できたりします。また、用件再生をせずにアラーム音だけ鳴らすようにも設定できます。

1 アラーム再生したい用件を表示させる。

フォルダや用件の選択方法について詳しくは、「録音した用件を聞く」（27ページ）の手順1と2をご覧ください。

FOLDER 01
003/025 SP

2 アラーム設定画面を表示する。

① シーソーキーをメニュー側に倒す。
メニュー画面が表示されます。

② シーソーキーを上（▶▶I）に6回押して「アラーム（ALARM）」を選ぶ。

③ シーソーキー（■•▶）を押す。
アラームの設定画面が表示されます。

④ シーソーキーを上下（|◀◀/▶▶|）に押して、「ON」を選ぶ。
すでに「ON」に設定されている場合は、次の手順に進んでください。

⑤ シーソーキー（■•▶）を押す。
「日時（DATE)」が表示されます。

3 アラーム再生する日時を設定する。

日付を指定する場合

①「日時（DATE)」が表示されている間にシーソーキー（■•▶）を押す。
「年」の数字が点滅します。

② シーソーキーを上下（|◀◀/▶▶|）に押して、年の数字を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。
「月」の数字が点滅します。

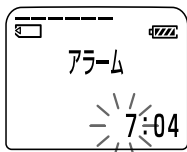
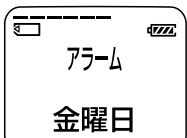
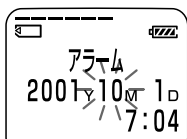
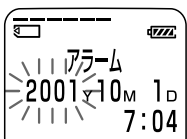
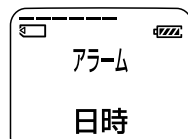
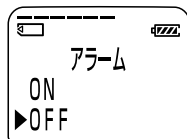
③ 同様に月、日、時、分の数字を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。

週に1回再生したい場合

① シーソーキーを上下（|◀◀/▶▶|）に押して、曜日（「日曜日（SUN)」～「土曜日（SAT)」）を選ぶ。

② シーソーキー（■•▶）を押す。
「時」の数字が点滅します。

③ シーソーキーを上下（|◀◀/▶▶|）に押して、時の数字を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。
「分」の数字が点滅します。

その他の機能

（次ページへ続く）

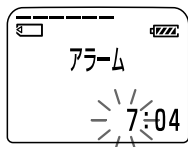
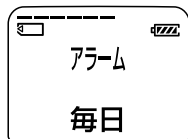
④シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、分の数字を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。

毎日決まった時刻に再生したい場合

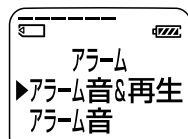
① シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、「毎日（DAILY）」を選ぶ。

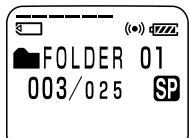
② シーソーキー（■•▶）を押す。
「時」の数字が点滅します。

③ シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、時の数字を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。
「分」の数字が点滅します。

④ シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、分の数字を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。

4 アラーム時刻に用件を再生するか、アラーム音のみ鳴らすかを選ぶ。

① シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、「アラーム音 & 再生（BEEP&PLAY）」か「アラーム音（BEEP ONLY）」を選ぶ。

② シーソーキー（■•▶）を押す。

5 シーソーキーをメニュー側に倒す。

通常の画面に戻ります。
アラーム設定した用件には「((•))」が表示されます。

設定した時刻になると

約10秒間アラーム音が鳴り、選んだ用件の再生が始まります（手順4で「アラーム音（BEEP ONLY）」を選択した場合はアラーム音のみが鳴ります）。

アラーム再生中は、「アラーム（ALARM）」表示が点滅します。再生が終わると、自動的に停止します（アラーム再生した用件の頭に戻ります）。

☞ **アラーム再生された用件をもう一度聞くには**
シーソーキー（■•▶）を押すと、その用件の初めから再生されます。

☞ **用件が再生される前に止めるには**
アラーム音が鳴っている間に■停止ボタンを押します。ホールドスイッチが入っていても止められます。

ご注意

- アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラームが鳴ります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、「((•))」表示のみが点滅し、録音を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- 録音中に2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみアラームが鳴ります。
- メニューモード中にアラーム設定時刻になった時はメニューモードが中止され、アラームが鳴り始めます。
- アラーム設定した用件を消去すると、アラーム設定は無効になります。
- アラーム設定した用件にインデックスを追加した場合、分けた点より前の部分にのみアラーム設定されます。
- アラーム再生を設定した用件のインデックスを削除し、前の用件とつなげた場合、後ろの用件のアラーム設定は無効になります。
- 再生音の大きさは、音量+/－ボタンで調節できます。ちょうど良い音量に設定してお使いください。
- 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

(次ページへ続く)

現在設定されている内容を確認するには

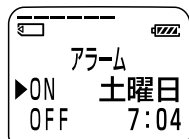
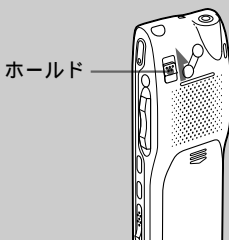
アラーム設定されている用件で手順1と2を行うと、手順2の②の画面にアラーム再生日と時刻が表示されます。

アラーム設定を解除またはアラーム設定内容を変更するには

① アラーム設定してある用件を選び、 シーソーキーをメニュー側に倒す。

② シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、「アラーム（ALARM）」を選択し、シーソーキー（■•▶）を押す。
現在のアラーム設定が表示されます。

③ **アラーム設定を解除する場合：**
シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、「OFF」を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。
アラーム時刻を変更する場合：
シーソーキー（■•▶）を押す。
現在設定されているアラーム再生日時が表示されたら、57〜58ページの手順3〜5を行い、設定内容を変更します。

④ シーソーキーをメニュー側に倒す。
通常の画面に戻ります。

誤操作を防止する — ホールド機能

ホールドスイッチを矢印の方向にずらします。表示窓に「ホールド（HOLD）」が3回点滅し、すべてのボタンが操作できなくなります。停止中にホールドにすると、「ホールド（HOLD）」表示の点滅のあと、表示窓の表示がすべて消えます。

ホールドを解除するには

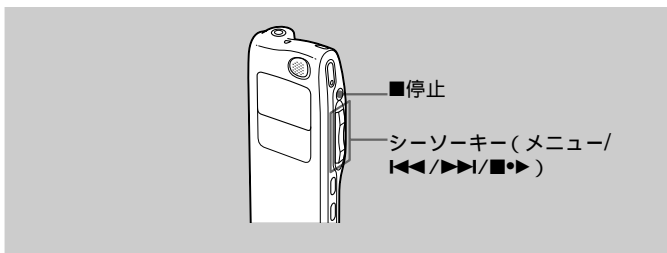
操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらしてください。

ご注意

録音中にホールドにした場合、録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

ホールド中でもアラーム再生は止められます。
アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには■停止ボタンは使えます（通常の用件再生は停止できません）。

画面表示モードを切り替える

画面表示を切り替えることができます。停止時、録音時、再生時とも、設定しておいた画面表示モードになります。

1 シーソーキーをメニュー側に倒す。

メニュー画面が表示されます。

2 シーソーキーを上（▶▶|）に2回押して「表示切替え（DISPLAY）」を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。

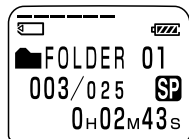
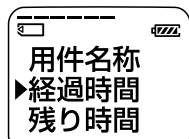
画面表示モード設定画面が表示されます。

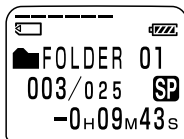
用件名称
▶経過時間
残り時間

3 シーソーキーを上下（|◀◀/▶▶|）に押して、画面表示モードを選ぶ。

次の表示モードから選びます。

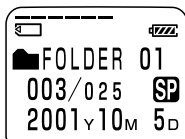
■ **経過時間表示モード**(LAP TIME)

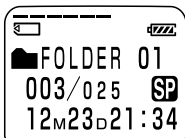
ひとつの用件の中の経過時間を表示します 。

■ **残り時間表示モード**(TOTAL REMAIN)

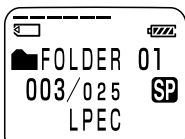
再生中はその用件の中の残り時間を表示します。録音中、停止中は録音可能な残り時間を表示します。

(再生中)

(録音中・停止中)

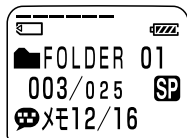
■ **録音年月日表示モード**(REC DATE)

再生または停止中は、用件を録音した年月日を表示します。録音中は、現在の年月日を表示します。(時計を合わせていない場合は、「----Y--M--D」と表示されます。)

■ **録音日時表示モード**(REC TIME)

再生または停止中は、用件を録音した月日、録音開始時刻を表示します。録音中は、現在の日時を表示します。(時計を合わせていない場合は、「--M--D--:--」と表示されます。表示されるのは用件の録音開始時刻のみです。1件の用件の中では録音日時は進みません。)

■ **コーデック表示**(CODEC)

用件のファイル形式(LPEC または ADPCM)を表示します。

(次ページへ続く)

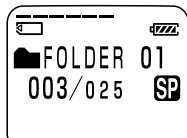
画面表示モードを切り替える（つづき）

■ **用件タイトル名表示**(MSG.NAME)
用件タイトル名を表示します。（用件タイトルを設定していない場合は、タイトル名は表示されません）。

4 シーソーキーを（■•▶）を押す。

5 シーソーキーをメニュー側に倒す。

通常の画面に戻ります。

☞ **長い用件タイトルを付けた場合**
半角10文字（全角5文字）以上の用件タイトルを付けた場合は、スクロール表示されます。

☞ **スリープ表示について**
停止中に3秒以上何も操作をしないと、表示モードに関係なく、右のようなスリープ表示になります。

☞ **現在時刻表示について**
スリープ表示中に■停止ボタンを押すと、現在時刻が3秒間表示されます。

“ メモリースティック ”を初期化する

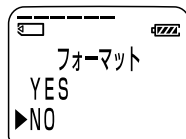
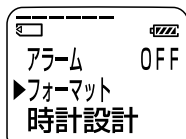
本機で“ メモリースティック ”をフォーマット（初期化）することができます。フォーマットすると、“ メモリースティック ”に記録されたデータはすべて消去されます。
フォーマットする前に事前に内容を確認してください（フォーマットすると、本機で録音した用件以外のデータも消去されます）。市販の“ メモリースティック ”はお買い上げ時にすでにフォーマットされています。再度フォーマットをする必要はありません。本機に付属の“ メモリースティック ”も同様です。

1 シーソーキーをメニュー側に倒す。
メニュー画面が表示されます。

2 シーソーキーを上（⏭）に5回押して「フォーマット（FORMAT）」を選ぶ。

3 シーソーキー（■•▶）を押す。
初期化の選択画面が表示されます。

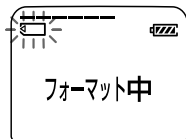
(次ページへ続く)

その他の機能

4 シーソーキーを上下（⏮/⏭）に押して、「YES」を選ぶ。

5 シーソーキー（■•▶）を押す。

確認として画面に「OK？」と表示がでます。

6 シーソーキー（■•▶）を押す。

フォーマットが始まります。
フォーマット中は画面に「フォーマット中(FORMATTING)」と表示されます。
フォーマットが終わったら手順2の画面になります。

7 シーソーキーをメニュー側に倒す。

通常の画面に戻ります。フォーマットをすると、自動的にフォルダが3つ作成されます（初めて“ メモリースティック ”を入れたときと同じ状態です）。

☞ **途中でフォーマット（初期化）を中止するには**

手順4で「NO」を選ぶか、手順5で「OK？」の表示中に停止ボタンを押してください。

ご注意

“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、フォーマットできません。

設定を変える－メニュー

メニューを操作する

停止中、再生中、録音中にメニュー（MENU）を使って、録音、再生時の動作モードや画面の表示モードなどの設定を切り替えることができます。次の手順でメニューを表示し、設定を変更します。

1 シーソーキーをメニュー側に倒す。

メニュー画面が表示されます。

2 シーソーキーを上下（I◀◀/▶▶I）に押して、変更したい項目を選ぶ。

次ページの「メニュー覧」が表示されます。なお、再生中または録音中にメニューを表示した場合は、設定できる項目が限られます。

3 シーソーキー（■•▶）を押す。

選んだ項目の設定モードになります。

4 シーソーキーを上下（I◀◀/▶▶I）に押して、設定したい項目を選び、シーソーキー（■•▶）を押す。

設定が変更されます。設定できる項目については、次ページの次ページの「メニュー覧」をご覧ください。

5 シーソーキーをメニュー側に倒す。

通常の画面に戻ります。

(次ページへ続く)

メニュー一覧

メニュー（英語表示）	設定項目（*:初期設定）
マイク感度 (MIC SENS)	会議(H)*：会議録音モードで録音します。遠くの音や小さい音を録音するとき使います。（例：会議を録音するとき） 口述(L)：口述録音モードで録音します。近くの音や大きい音を録音するとき使います。（例：マイクを口元に近づけて録音するとき）
VOR	ON：VOR機能が有効になり、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まります。空録音の部分がなくなり、効率の良い録音をすることができます。 OFF*：VOR（自動音声録音スタート）機能が無効になり、通常の録音モードになります。
フォルダ追加 (NEW FOLDER)	新規フォルダ追加画面が表示されます。(YES/NO*) ➡「フォルダを追加する」(43ページ)
フォルダタイトル (FOLDER NAME)	フォルダタイトル変更画面が表示されます。 ➡「フォルダタイトルを付ける」(49ページ)
用件タイトル (MSG.NAME)	用件タイトル変更画面が表示されます。 ➡「用件タイトルを付ける」(52ページ)
ユーザー名 (USER NAME)	ユーザー名変更画面が表示されます。 ➡「ユーザー名を付ける」(53ページ)
DPC	再生スピード設定画面が表示します。(ON/OFF*) ➡「再生スピードを調節する－DPC（デジタル・ピッチ・コントロール）機能」(34ページ)
連続再生（CONT.）	ON：フォルダ内の用件を続けて再生します。 OFF*：用件が終わるごとに止まります。

メニュー（英語表示）	設定項目（*:初期設定）
イージーサーチ (EASY-S)	ON:再生中、シーソーキーの上（◀◀）を押して約3秒戻る、または下（▶▶）を押して約10秒先に進みます。 OFF*:シーソーキーの上下（◀◀/▶▶）で用件を送ります。
ビープ音（BEEP）	ON*：操作時の受け付け確認音およびエラー音（ピピピピ）が鳴ります。 OFF：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません（アラームは鳴ります）。
アラーム（ALARM）	アラーム再生の設定画面が表示されます。（ON/OFF*） ➡「希望の時刻に再生を始める — アラーム再生」（56ページ）
フォーマット (FORMAT)	"メモリースティック"初期化画面が表示されます。（YES/NO*）➡『"メモリースティック"を初期化する」（65ページ）
時計設定 (SET DATE)	時計の設定画面が表示されます。 ➡「準備2：時計を合わせる」（18ページ）
表示言語 (LANGUAGE)	日本語*：画面の表示言語が日本語になります。 ENGLISH：画面の表示言語が英語になります。 （すでに登録したフォルダタイトルや用件タイトルは表示を切り替えても登録した言語で表示されます。）
表示切替え (DISPLAY)	画面表示の選択画面が表示されます。 ➡「画面表示モードを切り替える」（62ページ）
録音モード(MODE)	SP*：付属の"メモリースティック"（16MB）で最大約130分の録音が可能です。より良い音質で録音できます。 LP：付属の"メモリースティック"（16MB）で最大約347分の録音が可能です。長時間の録音ができます。

"メモリースティック"が入っていないと

「フォルダ追加（NEW FOLDER)」、「フォルダタイトル（FOLDER NAME)」、「用件タイトル（MSG. NAME)」、「アラーム（ALARM)」、「フォーマット（FORMAT)」、「表示切替え（DISPLAY)」は表示されません。

再生時にメニューを表示すると

「DPC」、「連続再生（CONT.)」、「表示切替え（DISPLAY)」のみを設定できます。

録音時にメニューを表示すると

「マイク感度(MIC SENS)」、「VOR」、「表示切替え(DISPLAY)」のみを設定できます。

本ソフトウェアの概要

こんなことができます

付属のMemory Stick Voice Editor（メモリースティックボイスエディター）を使って、本機に録音した用件をパソコンに取り込み、用件の管理、再生などを行うことができます。

- **本機で“ メモリースティック ”に録音した用件をパソコンに 取り込む**
  本機から“ メモリースティック ”を取り出し、録音した用件をパソコンに取り込めます。

パソコンに取り込んだ用件は、パソコン上で再生したり、パソコン上でタイトルの入力や順番の移動などの編集をしたあと、再び“ メモリースティック ”を本機に戻すことができます。

- **用件をパソコンのハードディスクに保存**
  “ メモリースティック ”の用件は、次のいずれかの形式を選んでハードディスクに保存できます。（71ページ参照）
  ー“ メモリースティック ”独自のmsv（LPEC形式）ファイル
  ー“ メモリースティック ”独自のmsv（ADPCM形式）ファイル
  ーソニー独自のdvfファイル
  ーwav ファイル（8/16 ビット）

- **パソコンに保存した用件を“ メモリースティック ”に追加し、本機に戻して再生**
  一度パソコンに保存した用件はもちろん、E-mail 等で受け取った音声ファイル（msv、dvf、wav形式）を本機用に“ メモリースティック ”にmsvファイルとして追加することができます。“ メモリースティック ”を本機に戻せば、追加した用件は本機で再生できます。

扱えるファイル形式について

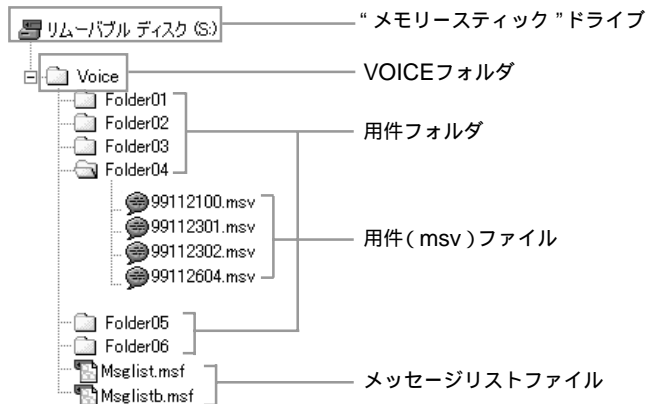
Memory Stick Voice Editor 2.0では、次のファイル形式の用件をパソコンのハードディスクに保存したり、再生、編集、またはメールに添付することができます。ファイル形式は、音声フォーマット変換機能を使って、相互にファイル形式を変換することができます（一部変換できない場合があります）。

- msv**ファイル（**LPEC**形式）（拡張子：**msv **）**
  本機での録音に使用される音声ファイル形式です。音声が圧縮された状態になるので、少ない容量で保存することができます。msv（LPEC形式）ファイルは、付属の「Memory Stick Voice Editor」上で編集や再生、または“ メモリースティック ”に書き込んで、本機に戻して再生、編集することができます。
- msv**ファイル（**ADPCM**形式）（拡張子：**msv **）**
  メモリースティックIC レコーダーICD-MS1/MS2での録音に使用される音声ファイル形式です。msv（ADPCM形式）ファイルは、Memory Stick Voice Editor上で編集や再生、または“ メモリースティック ”に書き込んで、ICレコーダーICD-MS1/MS2に戻して再生することができます。本機では、msv（ADPCM形式）ファイルの編集を行うことはできませんが、再生をすることはできます。また、Memory Stick Voice Editor 2.0でSPモードの場合はmsv(LPEC、SP)ファイルに、LPモードの場合はmsv(LPEC、LP)ファイルに変換することにより、“ メモリースティック ”に書き込んで、本機で再生、編集することができます。

(次ページへ続く)

- **dvfファイル（拡張子：dvf）**
  ICレコーダーICD-BP120/220/320での録音に使用される音声ファイル形式です。音声が圧縮された状態になるので、少ない容量で保存することができます。dvfファイルは、Digital Voice Editor上で編集や再生、ICレコーダーICD-BP120/220/320に戻して再生することができます。また、Memory Stick Voice Editor 2.0でSPモードの場合はmsv(LPEC、SP)ファイルに、LPモードの場合はmsv(LPEC、LP)ファイルに変換することにより、" メモリースティック "に書き込んで、本機で再生、編集することができます。
- **wavファイル形式（拡張子：wav ）**
  パソコンの一般的なアプリケーションでの録音に使用されるPCM8/11/16/44.1kHz、8/16ビットモノラル形式（44.1kHzのみステレオ）の音声ファイル形式です。Windowsに付属しているサウンドレコーダーなどのソフトウェアで再生できます。また、Memory Stick Voice Editor 2.0で11/16/44.1kHzの場合はmsv(LPEC、SP)ファイルに、8kHzの場合はmsv(LPEC、LP)ファイルに変換することにより、" メモリースティック "に書き込んで、本機で再生、編集することができます。
- **icsファイル形式（拡張子：ics）**
  ICレコーダーICD-R100/R200での録音に使用されるソニー独自の音声ファイル形式です。Memory Stick Voice Editor 2.0では対応していません。icsファイル形式に対応しているソフトウェア（ICD-PCLINKソフトウェアなど）を使用してwavファイルに変換すると、Memory Stick Voice Editor 2.0上でお使いになれます。

“ メモリースティック ”内のフォルダ構造について

本機で用件を録音した“ メモリースティック ”内は、以下のようなフォルダ構造になっています。

VOICE フォルダ

本機や「Memory Stick Voice Editor 」で用件を管理するためのフォルダです。本機の「フォルダ」に相当する用件フォルダがVOICE フォルダの中に保存されています。初めて本機に“ メモリースティック ”を差し込んだときは、VOICE フォルダの「初期設定」が自動的に行われ、FOLDER01 、02 、03 の3つの用件フォルダが作られます。

メッセージリスト（msf ）ファイル

VOICE フォルダや、フォルダ内のフォルダや用件の情報や設定を管理しているファイルです。「B 」が付くバックアップファイルも同時に保存されています。

(次ページへ続く)

本ソフトウェアの概要（つづき）

ご注意

- Windows のエクスプローラ上でメモリースティックドライブを上記のように表示できますが、用件の編集や移動、コピー、削除などはエクスプローラ上では行わないでください。
- エクスプローラ上で表示されるフォルダとファイル名はフォルダタイトル（49ページ）や用件タイトル（52ページ）とは異なります。

“ メモリースティック ”の初期化（フォーマット）について

“ メモリースティック ”の初期化（フォーマット）を行うときは、必ず本機の「フォーマット（FORMAT)」の機能を使ってください。詳しくは65ページをご覧ください。

必要なシステム構成

このソフトウェアを使うためには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

■以下の性能を満たしたIBM PC/AT およびその互換機（NEC PC-98 シリーズとその互換機、また自作PCでは動作保証いたしません。Macintosh には対応していません。）

- CPU ：266MHz 以上のPentium®IIプロセッサもしくは同等の性能を有するプロセッサ
- RAM 容量：64M バイト以上
- ハードディスクの空き容量：70M バイト以上（音声データの扱い量に比例して多くの空き容量が必要です。）
- ドライブ： CD-ROM ドライブ
- サウンドボード：Sound Blaster 16 互換
- ディスプレイ：ハイカラー（16 ビットカラー）以上、800 x 480 ドット以上

■OS ： Microsoft® Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、Windows® 2000 Professional、Windows® Millennium Edition、Windows® 98、Windows® 98 Second Edition標準インストール（Windows® 95またはWindows® NTには対応していません。）

ご注意

パソコン本体に"メモリースティック"の挿入口があるか、以下のいずれかのメモリースティック対応アダプター（別売り）が必要になります。

- メモリースティック用PC カードアダプター（MSAC-PC2N ）
- USB 対応メモリースティックリーダー/ライター（MSAC-US1A/MSAC-US5/MSGC-US10）

メモリースティック対応アダプターによっては、上記以外の条件を必要とする場合があります。フロッピーディスクアダプターのご使用は推奨いたしません。

音声認識を使う場合のご注意

Dragon Systems社のDragonSpeech Select（別売り）と組み合わせて音声認識機能を使う場合は、上記に加えてDragonSpeechが必要なシステム構成（動作環境）も満たしている必要があります。
音声認識について詳しくは付属の「音声認識の手引き」をご覧ください。

音声メール送信機能を使う場合のご注意

以下のメールソフトウェアと組み合わせてお使いになる場合は、上記に加えてお使いになるソフトウェアが必要なシステム構成（動作環境）も満たしている必要があります。

- Microsoft® Outlook Express 5.0/5.5/6.0
- Microsoft® Outlook 2000/2002
- Eudora 4.2/4.3（ペイモード）/5.0

ソフトウェアをインストールする

付属のMemory Stick Voice Editorをパソコンのハードディスクなどにインストールします。

ご注意

- Windows® XP Home Edition、Windows® XP Professional、またはWindows® 2000 Professional上でインストールする場合は、必ずユーザー名「Administrator」でログオンしてください。管理者権限（Administrators）でも全角のユーザー名でログオンすると、インストールに失敗する場合があります。その場合は、いったんログオフしてからユーザー名「Administrator」でログオンしたあとにMemory Stick Voice Editorのアンインストールを実行してください。その後、ユーザー名「Administrator」で再度インストールを行ってください。
- 本ソフトウェアをインストールすると、インストール先のOSによってはMicrosoft DirectX 8.0のモジュールがインストールされる場合があります。このモジュールは本ソフトウェアのアンインストールによって削除はされません。

1 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

ご注意

- インストールするときは、Windowsの他のアプリケーションは終了させておいてください。
- Memory Stick Voice Editor 1.0/1.1/1.2がすでにインストールされている場合は、自動的にアンインストールされます。（用件ファイルは削除されません。）

2 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入する。

CD-ROMを入れると、インストーラーが自動的に起動し、次ページの画面が表示されます。起動されない場合は［Japanese］フォルダの中の［MSVESetup.exe］をダブルクリックしてください。

3 画面に従って操作する。

再起動を求めるダイアログボックスが表示されたら、［OK］をクリックして、コンピューターを再起動します。再起動後、インストールが完了します。

アンインストールするには

Memory Stick Voice Editorが不要になった場合は、以下の手順で削除してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］→［Memory Stick Voice Editor］→［アンインストール］を順に選ぶ。

アンインストーラーが起動されます。

2 画面に従って操作する。

ご注意

本ソフトウェアを一度インストールしたあと、別のドライブまたはフォルダに移動させる場合は、アンインストールしてから再度インストールを行ってください。ファイルを移動しただけでは、ソフトウェアは動作しなくなります。

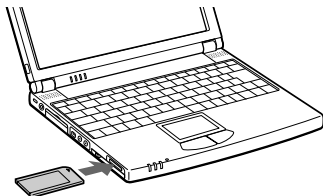
☞ ［設定］→［コントロールパネル］→［アプリケーションの追加と削除］でもアンインストーラーを起動することができます。

☞ ソフトウェアを削除しても、パソコンに保存した用件ファイルは削除されません。

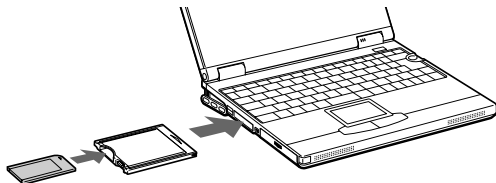
“ メモリースティック ”をパソコンに取り付ける

ICレコーダーから“ メモリースティック ”を抜き、次のいずれかの方法で“ メモリースティック ”内のデータをパソコンに取り込みます。

お使いのパソコンに専用スロットがある場合

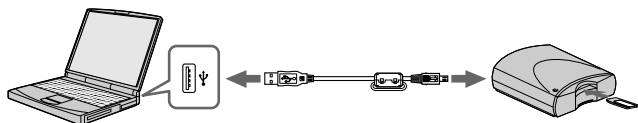
パソコンのメモリースティック専用スロットに直接挿入します。

お使いのパソコンに専用スロットがない場合

次のいずれかのアダプターを使用します。いずれの場合もあらかじめドライバーのインストールが必要です。詳しくはお使いになるアダプターの取扱説明書をご覧ください。

- **別売りのソニーPCカードアダプター（MSAC-PC2N）を使う**
  PCカードアダプターに“ メモリースティック ”を差し込み、PCカードアダプターをパソコンのPCカードスロットに挿入します。

ご注意

PCカードアダプターを使うときは、必ず“ メモリースティック ”のLOCKスイッチを解除してください。

●**別売りのソニー**USB**対応メモリースティックリーダー/ライター（**MSAC-US1**）を使う**

メモリースティックリーダー/ライターを付属のケーブルでパソコンのUSBポートにつなぎ、メモリースティックリーダー/ライターに“メモリースティック”を差し込みます。

Memory Stick Voice Editorを起動する

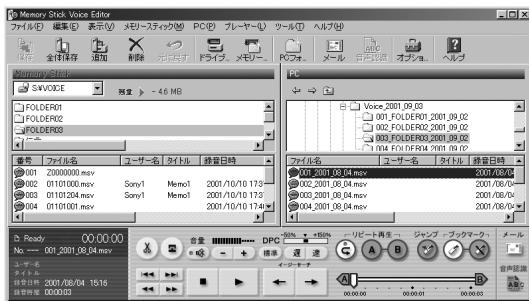
起動•終了する

1 Windows**を起動する。**

2 IC**レコーダーから取り出した“ メモリースティック ”をパソコンに挿入する（**78**ページ参照）。**

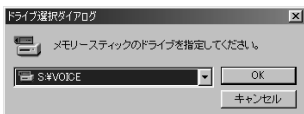
3 **［スタート］、［プログラム］を順に開き、プログラムメニューの中の**［Memory Stick Voice Editor 2.0］**から**［Memory Stick Voice Editor］**をクリックする。**

「Memory Stick Voice Editor」が起動します。

起動画面が表示され、メッセージリストファイル（73ページ）の読み込み後、メイン画面が表示されます。

ご注意

Windowsの画面の設定が「大きいフォント」になっていると、メイン画面の表示が上の通りにならないことがあります。その場合は、設定を「小さいフォント」に変更することをおすすめします（操作の方法はWindowsの取扱説明書をご覧ください）。

初めて起動したとき、またはメモリースティックドライブが見つからないときは

起動画面の後、メモリースティックドライブを指定するダイアログボックスが表示されます。

コンボボックスから、メモリースティックドライブを指定し、[OK]をクリックします。VOICEフォルダ内の用件フォルダがフォルダ一覧表示部に表示されます。

ご注意

- "メモリースティック"のドライブ名は、お使いになっているパソコンの環境や設定により異なります。
- 新しい"メモリースティック"を使っているときなど、VOICEフォルダが含まれていないドライブを指定した場合は、「用件フォルダがありません。新規作成しますか？」というダイアログボックスが表示されます。[はい] をクリックすると、"メモリースティック"内にVOICEフォルダの初期設定を行ってからメイン画面が表示されます。[いいえ] をクリックすると、ドライブ選択ダイアログボックスが表示されます。

"メモリースティック"挿入についてのご注意

- Memory Stick Voice Editorを起動する前に、"メモリースティック"をパソコンに挿入してください。起動した後に"メモリースティック"を挿入しても、ドライブが表示されません。
- "メモリースティック"をパソコンから抜く前に必ずMemory Stick Voice Editorを終了させてください。

終了するには

画面右上の [X] ボタンをクリックするか、[ファイル] メニューから [終了] をクリックします。

オンラインヘルプを使う

本ソフトウェアの使用方法については、オンラインヘルプをご覧ください。

☞最新情報についてはReadMe をご覧ください。ReadMe を開くには、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] → [Memory Stick Voice Editor 2.0] → [はじめにお読みください] を選びます。

オンラインヘルプを表示するには

下記のいずれかを行ってください。

- [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] → [Memory Stick Voice Editor 2.0] → [ヘルプ] を選ぶ。
- Memory Stick Voice Editorを起動した状態で、[ヘルプ] メニューから [トピックの検索] を選ぶ。
- Memory Stick Voice Editor を起動した状態で、ツールバーの（トピックの検索）ボタンをクリックする。

ヘルプの目次から検索するには

- 左のペインの [目次] タブでをダブルクリックすると、その中にある項目のタイトルが表示されます。
- それぞれのタイトルをダブルクリックすると、その項目の説明が右のペインに表示されます。

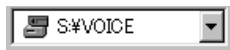
キーワードまたは文字で検索するには

- 左のペインの [キーワード] タブをクリックすると、キーワードの一覧が表示されます。キーワードをダブルクリックすると、その項目の説明が右のペインに表示されます。
- 左のペインの [検索] タブをクリックし、検索する語句を入力すると、語句が含まれるトピックの一覧が表示されます。一覧からタイトルをダブルクリックすると、その項目の説明が右のペインに表示されます。

メイン画面の各部の名前と働き

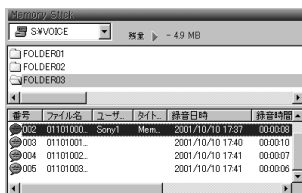
1 メニューバー/ツールバー

メニューバーは各メニューコマンドを実行します。頻繁に使用するメニューコマンドがボタンになっているのがツールバーです。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

2 ドライブコンボボックス

表示したい“ メモリースティック ”ドライブをコンボボックスから選びます。選択されたドライブのVOICEフォルダの中にある用件フォルダが用件フォルダ表示部に表示されます。

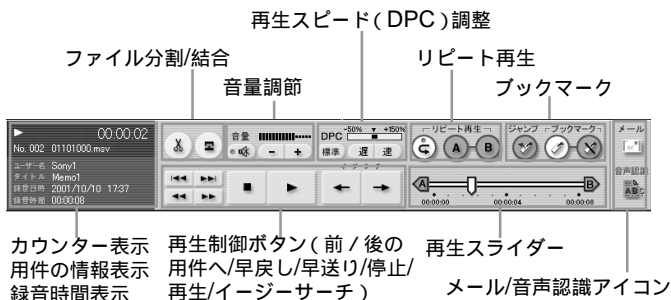
(次ページへ続く)

メイン画面の各部の名前と働き（つづき）

3 メモリースティック側用件フォルダ／用件表示部

上の用件フォルダ表示部には、ドライブコンボボックス2で選んだドライブのVOICEフォルダ内の用件フォルダが一覧表示されます。用件フォルダ表示部でフォルダを選択すると、選択された用件フォルダ内の用件が下の用件表示部に表示されます。用件表示部では、各用件の用件番号、ファイル名、ユーザー名、タイトル、録音日時、録音時間、重要マーク、ブックマーク、アラーム設定、圧縮方式、録音モード（SPまたはLP）が一覧表示されます。

4 PC側フォルダツリー／用件表示部

上のフォルダツリー表示部には、PC内のドライブとフォルダがツリー表示されます。フォルダツリー表示部で、ドライブとフォルダを選ぶと、選んだフォルダ内の用件が下の用件表示部に表示されます。用件表示部では、各用件の、ファイル名、ユーザー名、タイトル、録音日時、録音時間、重要マーク、ブックマーク、圧縮方式、録音モード（SPまたはLP）が一覧表示されます。

5 プレーヤー部

用件の再生操作を行う部分です。“ メモリースティック ”の内容や再生中の用件の情報が表示されます。詳しくはオンラインヘルプをご覧ください。

ご注意

ICレコーダーでの残量表示とMemory Stick Voice Editorでの残量表示が異なることがありますが、これはICレコーダーがシステム上必要な領域を差し引いて表示しているためで、故障ではありません。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について

- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  –温度が非常に高いところ（60°C以上）。
  –直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  –窓を閉めきった自動車内。（特に夏期）。
  –風呂場など湿気の多いところ。
  –ほこりの多いところ。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

メモリースティック”の取り扱いについて

- 端子部に手や金属で触れないでください。
- ラベルの張り付け部分には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

(“メモリースティック”が本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、“メモリースティック”を入れたままご相談されることをおすすめします。)

データバックアップのお願い

修理に出した場合、録音した内容が消えることがあります。大切な録音内容はあらかじめバックアップを取っておいてください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備としてテープレコーダーなどに録音、またはパソコンなどにバックアップを保存してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。
それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のテクニカルインフォメーションセンターまでお問い合わせください。
なお、保証書とアフターサービスについては、100ページをご参照願います。

こんなときは

本体

症状	原因／処置
操作ボタンを押しても動作しない。	• 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない（16ページ）。 • 乾電池が消耗している（17ページ）。 • ホールドスイッチが入っている(ボタンを押すと「ホールド（HOLD)」表示が3回点滅）（61ページ）。
スピーカーから音が出ない。	• イヤホンまたはヘッドホンが差し込まれている。 • 音量が絞られている（28ページ）。
録音できない。	• メモリースティックがいっぱいになっている。 →不要な用件を消去する（31ページ）。 • “ メモリースティック ”が入っていない（20ページ）。 • “ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」の状態になっている（21ページ）。 • 選んだフォルダに999件録音されている。 →別のフォルダを選ぶか、不要な用件を消去する。
用件を消去できない（1件ずつ消去するとき）	•“ メモリースティック ”の誤消去防止用スイッチが「LOCK」の状態になっている（21ページ）。 • その用件またはその用件の入っているフォルダが、パソコン上で「読み取り専用」に設定されている。 →“ メモリースティック ”内のデータをWindowsのエクスプローラで表示させ、ファイルまたはフォルダのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずす。 • 非対応のデータ（71ページ）の場合、本機では消去できません。
用件を消去できない（フォルダ内の用件を全て消去するとき）	•“ メモリースティック ”の誤消去防止用スイッチが「LOCK」の状態になっている（21ページ）。 • そのフォルダまたは、そのフォルダの中の用件が、パソコン上で 「読み取り専用」に設定されている →“ メモリースティック ”内のデータをWindowsのエクスプローラで表示させ、フォルダまたはファイルのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずす。

症状	原因／処置
上書き録音できない。	● メモリー残量が不足している場合は上書き録音できません。上書きされる部分は、新たに録音される部分の録音が終わってから消去されるため、録音できるのは、現在の残り録音可能時間分のみです。 ● ICD-MS1/MS2で録音したmsv（ADPCM形式）ファイルの用件は上書き録音できません。
雑音が入る。	● 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 ● 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 ● 外部マイク（別売り）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。 →プラグをきれいにクリーニングする。 ● イヤホン／ヘッドホンで聞いているとき、イヤホン／ヘッドホンのプラグが汚れている。 →プラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい。	● マイク感度(MIC SENS)が「口述(L)」になっている。 →「会議(H)」に切り替える。（68ページ参照）
録音が途中で止まる。	● デジタルVOR（68ページ）が作動している。VORを使用しないときは、「OFF」にする。
録音レベルが不安定。(音楽などを録音したとき)	● 本機は会議などの録音の際、自動的に録音レベルを調整するよう設計されているため、音楽などの録音には適していません。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	● メニューの「DPC」で再生スピードが調整されている。（34ページ参照） →「DPC」で再生スピードを設定する。
時計表示が「--:--」になる。	● 時計を合わせていない。（18ページ参照）
REC DATE表示が「--Y--M --D」または「--:--」になる。	● 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されません。
メニュー表示の項目が足りない	●“メモリースティック”が入っていないと、表示されないメニューがあります（69ページ）。
フォルダタイトルや用件タイトルが文字化けして□になってしまう	● 付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使ってパソコンでタイトルを入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。

(次ページへ続く)

故障かな？と思ったら（つづく）

症状	原因／処置
用件が重要マークの順に並んでいない	• 付属のソフトウェア「Memory Stick Voice Editor」を使って、パソコンで重要マークを付けた場合、パソコン上で重要マーク順にソートしていれば、本機に戻したときにも重要マーク順に並びますが、ソートしていない場合は、重要マークに関係なく、パソコン上での並び替えた用件の順番になります（47ページ）。
ICレコーダーに表示される残り時間（63ページ）が、付属のソフトウェアでのパソコン上での残量表示より短い	• ICレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示して　いるため、Memory Stick Voice Editorでの残量表示と異なる場合があります。
正常に動作しない	• 乾電池を取り出して、もう一度入れ直す。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

ソフトウェア

症状	原因／処置
インストールできない	• ハードディスクの空き容量が少ない可能性があります。 →容量を確認してください。
" メモリースティック " に録音した用件が読み込めない	•" メモリースティック "ドライブが認識されていない。 →Memory Stick Voice Editorをいったん終了し、" メモリースティック "をパソコンに正しく挿入してから再度起動してください。ソフトウェアを起動した後に" メモリースティック "を挿入しても、ドライブ表示されません。 • "メモリースティック"用アダプターを正しく使用しているか確認してください(78ページ)。詳しくは各アダプターの取扱説明書をご覧ください。
用件が再生できない	• サウンドボードがついていない。 • パソコンにスピーカーが内蔵または接続されていない。 • ミュートが解除されていない。
再生音が途切れる	• フロッピーディスクドライブを選んでいるときは、再生音が途切れる場合があります。
保存した用件ファイルが再生、編集できない	• Memory Stick Voice Editorが対応していないファイル形式の用件は再生できません。また、ファイル形式によっては一部の編集機能がお使いになれません（71ページ）。

症状	原因／処置
再生音量が小さい	● パソコン側で音量を上げてみてください（詳しくはお使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください）。
カウンターやスライダーの動きがおかしい、雑音が入る	● インデックスの追加／削除、上書き録音、追加録音などを行った用件をパソコン上で再生したときに発生する場合があります。 →いったんmsv形式（LPEC形式）でハードディスクに保存してから再度" メモリースティック "に戻すと、データが最適化され、正常な再生に戻ります。（LPモードの用件の場合は録音日時が固定になりますのでご注意ください）
用件数が多くなると動作が遅くなる	● 録音時間の長さに関係なく、" メモリースティック "内の用件の総数が多いと、処理に時間がかかることがあります。
用件の保存・追加・削除中に画面が動かなくなる	● 録音時間の長い用件の場合、コピーまたは削除に時間がかかります。 →コピーまたは削除が終了するまでお待ちください。通常の操作ができるようになります。
本ソフトウェアを起動したときフリーズ（ハングアップ）してしまう	● 他にインストールされているドライバおよびアプリケーションソフトとのコンフリクトの可能性があります。 ●" メモリースティック "のメッセージリストファイル（73ページ）が壊れている可能性があります。エクスプローラでVOICEフォルダの中にあるMsglistb.msfファイルを削除し、再度起動させてみてください。それでも解決しない場合は、Msglist.msfファイルを削除してください。ただし、その場合はフォルダタイトルや順番などの一部の情報が失われます。 ● PCカードアダプターをお使いの場合は、" メモリースティック "の誤消去防止スイッチがLOCKになっていないか確認してください。

本体エラー表示一覧

エラー表示	原因／処置
「メモリースティックエラー」 （MEMORY STICK ERROR）	もう一度“ メモリースティック ”を挿入し直してください。再度この表示が出た場合、“ メモリースティック ”自体の故障が考えられます。
「メモリースティックがありません」 （NO MEMORY STICK）	“ メモリースティック ”をすでに挿入している場合はもう一度挿入し直してください。
「非対応のデータです」 （UNKNOWN DATA）	選んだ用件はファイル形式が異なるため、本機で再生や消去ができません（71ページ）。
「アクセスエラー」 （ACCESS ERROR）	“ メモリースティック ”の誤消去防止用スイッチを確認し、「LOCK」されている場合は「LOCK」を解除してから“ メモリースティック ”をもう一度挿入し直してください。再度この表示が出た場合は、フォーマット（初期化）が必要です。65ページの方法で初期化をしてください。必要な場合は、パソコンなどで内容を確認し、データのバックアップを取ってください。
「フォーマットが必要です」 （FORMAT ERROR）	本機以外の機器で初期化された“メモリースティック”はお使いになれません。本機の「フォーマット」機能を使って初期化してください（65ページ）。
「メモリースティックがロックされています」 （MEMORY STICK LOCKED）	“ メモリースティック ”の誤消去防止スイッチが「LOCK」されていて、録音や編集、“ メモリースティック ”の初期化をすることができません。スイッチを左にずらしてからもう一度“ メモリースティック ”を挿入してください。
「ファイルがプロテクトされています」 （FILE PROTECTED）	パソコン上でファイルが「読み取り専用」に設定されているため、その用件は編集や消去ができません。また、その用件の入っているフォルダは全消去できません。

エラー表示	原因／処置
「フォルダがプロテクトされています」(FOLDER PROTECTED)	「読み取り専用」を解除するには、"メモリースティック"内のデータをWindowsのエクスプローラで表示させ、そのファイルのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずしてください。 パソコン上でフォルダが「読み取り専用」に設定されているため、そのフォルダ内の用件を編集、消去、移動をしたり、そのフォルダ内に新たに用件を録音することができません。また、そのフォルダを削除(44ページ)することはできません。
「電池を交換して下さい」(LOW BATTERY)	電池が消耗しています。新しい電池に取り替えてください(16ページ)。
「インデックス追加できません」(INDEX FULL)	1フォルダ内の用件の合計数が999件を超えているか、" メモリースティック "の残量が足りないため、インデックスが追加できません。いくつか用件を削除してからやり直してください。
「フォルダ追加できません」(FOLDER FULL)	" メモリースティック "の残量が足りないため、フォルダが追加できません。いくつか用件を削除してからやり直してください。
「ADPCMデータには対応していません」(INVALID FUNCTION IN ADPCM)	ICD-MS1/MS2などのmsv（ADPCM形式）ファイルの用件は、本機では一部の機能がお使いになれません。

ソフトウエアのエラーメッセージについては、オンラインヘルプをご覧ください。

システム上の制約

メモリースティックICレコーダーでは、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音時間まで録音できない	● SPモードとLPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSPモードとLPモードの最大録音時間の間になります。 ●"メモリースティック"に音声データ以外のデータ（画像データなど）が入っている。 ●"メモリースティック"には最小録音単位があるため、用件の数が多いと、端数が出ることにより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなることがあります（次ページ）。 ● 録音可能時間は、フォルダ数や用件数により変わります（次ページ）。
インデックスの追加ができない	●"メモリースティック"の残量が不足している。"メモリースティック"の残量が録音最小単位より少ないときは、インデックスの追加はできません。 ● 1つのフォルダ内で、999件を超えると、インデックスは追加できません。
インデックスの削除ができない	● 異なる録音モード（SP/LP）間のインデックスの削除はできません。
フォルダの追加ができない	●"メモリースティック"の残量が不足している。"メモリースティック"の残量が録音最小単位より少ないときは、フォルダの追加はできません。 ● 1枚のメモリースティック内には、340を超えるフォルダは作成できません。

最小録音単位について

用件の録音や、インデックスやフォルダを追加する場合、" メモリースティック "の最小録音単位分必要です。用件の録音時間が録音単位より少ない場合でも、用件は録音最小単位分の時間が使われます。
" メモリースティック "の残量が録音最小単位より少ないときは、インデックスやフォルダの追加はできません。

各" メモリースティック "での最小録音単位

録音モード／容量	4MB	8MB	16MB	32MB	64MB	128MB
SPモード	4秒	4秒	8秒	8秒	8秒	8秒
LPモード	11秒	11秒	22秒	22秒	22秒	22秒

最大録音時間、最大用件数、最大フォルダ数について

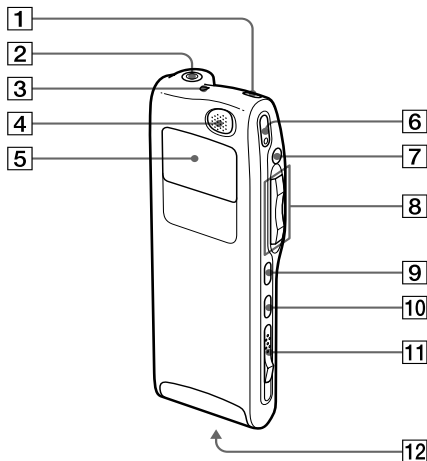
" メモリースティック "のメモリーには、録音した音声そのものを記録する他に、インデックスやフォルダの数の情報も記録するため、用件やフォルダの数が増えると、その分もメモリーの残量が減ります。このため、最大録音時間（12ページ）や最大用件数、最大フォルダ数はそれらの条件の組み合わせにより異なります。
ただし、最大録音時間いっぱいまで録音した場合のみ、インデックスを2つまで追加することができます。これにより、1件の用件で最大録音いっぱいまで録音してしまった時は、用件を3つに分割し、不要な部分を消去することができます。

主な仕様

録音方式	メモリースティック使用、モノラル録音
最大録音時間	SP: 約130分/LP: 約347分 付属のメモリースティック（16MB）使用時
周波数特性	SP：250〜7,300Hz／LP：250〜3,500Hz
スピーカー	直径 23mm
入・出力端子	イヤホン（ミニジャック／モノラル）出力 負荷インピーダンス　8〜300Ω マイク（ミニジャック／モノラル）入力 プラグインパワー対応、最小入力レベル 0.7mV
再生スピード調節（DPC）	＋100%〜–50%
実用最大出力	200mW
電源	DC 3V　単4形アルカリ乾電池2本使用
最大外形寸法	約34.4×106.3×18mm（幅／高さ／奥行き） 最大突起部含まず
質量	72g（アルカリ乾電池LR03 2本、“ メモリースティック ”含む）
付属品	メモリースティック（16MB）MSA-16AN（1）／ソニーアルカリ乾電池LR03（2）／イヤホン（1）／ストラップ（1）／パソコン用アプリケーションソフト「Memory Stick Voice Editor 2.0」（CD-ROM）（1）／取扱説明書（1）／早分かりカード（1）／保証書（1）／ソニーご相談窓口のご案内（1）／カスタマーご登録はがき（1）／カスタマーご登録のお願い（1）／音声認識の手引き（1）
別売アクセサリー	モノラルイヤーレシーバー MDR-EX17／ステレオイヤーレシーバー MDR-EX70／アクティブスピーカー SRS-T77 エレクトレットコンデンサーマイクロホン　ECM-T15、ECM-Z60（ズームマイク）／接続コード RK-G64／メモリースティック　MSA-8AN（8MB）、MSA-16AN（16MB）、MSA-32AN（32MB）、MSA-64AN（64MB）、MSA-128A（128MB）／PCカードアダプター MSAC-PC2N／USB対応リーダー／ライター MSAC-US1A／MSAC-US5／MSGC-US10

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

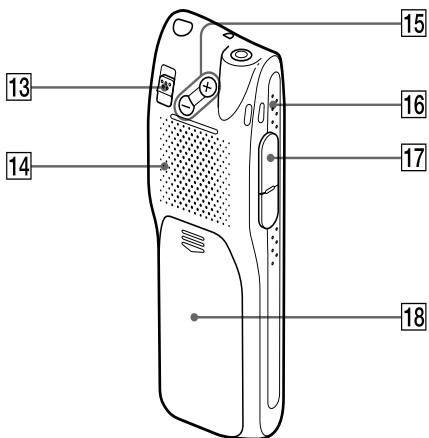
各部のなまえ

本体（表面）

1 消去ボタン（31、42、44ページ）
2 イヤホンジャック（25、28ページ）
3 録／再ランプ（23、28ページ）
4 内蔵マイク(23ページ)
5 表示窓（99ページ）
6 ●録音／一時停止ボタン(23、37、38ページ)
7 ■停止ボタン（23ページ）
8 シーソーキー
フォルダ/メニュー/I◀◀(早戻し)/▶▶I(早送り）/■•▶（再生／停止、決定)
9 インデックス／ブックマークボタン（35、40ページ）
10 A-Bリピート／重要マークボタン（36、47ページ）
11 取出し“メモリースティック”取り出しつまみ（21ページ）
12 “メモリースティック”挿入口(20ページ)

その他

(次ページへ続く）

各部のなまえ（つづく）

裏面

13 ホールドスイッチ（61ページ）

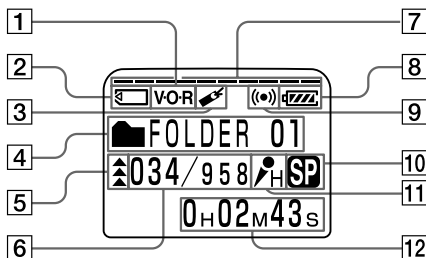
14 スピーカー

15 音量+/−ボタン（28ページ）

16 ストラップ取り付け部
付属のストラップを取り付けられます。

17 マイク(MIC)ジャック（25ページ）

18 電池ぶた（16ページ）

表示窓

1 VOR録音表示（25ページ）

2 "メモリースティック"表示
"メモリースティック"を挿入すると表示されます。

3 ブックマーク表示（35ページ）

4 フォルダ表示（20ページ）/メニュー表示、操作メッセージなど。

5 重要マーク（47ページ）

6 選んだ用件番号/メニュー内のモード表示（ON、OFFなど）

7 メモリー残量表示（26ページ）

8 電池交換時期表示（17ページ）

9 アラーム表示（56ページ）

10 録音モード（69ページ）

11 マイク感度（25、68ページ）

12 カウンター、残り時間、録音日時、現在時刻表示（62ページ）、

ご注意

明るいところでは、バックライトが点灯していることがわかりにくいことがあります。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

索引

記号、アルファベット順

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

(次ページへ続く)

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

お問い合わせ窓口のご案内

ポータブルオーディオ・カスタマーサポート

パソコン対応ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

http://www.sony.co.jp/support-pa/

テクニカルインフォメーションセンター

お使いになってご不明な点、技術的なご質問、故障と思われるときのご相談は下記までお問い合わせください。

電話：048-794-5194

受付時間：月～金　午前9時から午後6時まで（祝日、年末年始、弊社休日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：ICD-MS500
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日
- ご使用のパソコンの環境
  - ご使用のパソコンの機種名
  - メモリー容量
  - ハードディスクなどの容量

ソニー株式会社

〒141-0001 **東京都品川区北品川**6-7-35

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan

この説明書は再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物型インキを使用しています。